

子育て世帯の生活状況等に関する アンケート調査

調査結果報告書

平成28年10月

津山市

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査対象者	1
4	調査期間	1
5	回収結果	1
6	調査結果の見方等	1
II	子育て世帯の生活状況等に関するアンケート調査結果	2
1	回答者の属性について	2
2	家庭環境について	3
3	ひとり親世帯の現状について	6
4	仕事について	10
5	経済的な状況について	17
6	子育てや家庭教育について	21
7	必要な支援等について	43
III	子どもの貧困対策に関する支援者アンケート調査結果	47
1	子どもの貧困に関する法律や大綱の認知度と支援の内容について	47
2	貧困状態にある子どもの現状について	48
3	支援をする上での問題点について	51

I 調査概要

1 調査目的

子どもの貧困問題に対する子育て支援施策の資料とするため、津山市の経済的な支援制度や事業の利用者（保護者）（「制度利用者等」）や、子育て家庭への支援を行っている関係機関（「子育て支援機関」）を対象に、現況やニーズのアンケート調査を実施、分析する事で今後の施策に反映することを目的とする。

2 調査方法

郵送配布・郵送回収

3 調査対象者

子育て世帯の生活状況等に関するアンケート：支援制度利用者（保護者）

子どもの貧困対策に関する支援者アンケート：子育て支援機関

4 調査期間

現地調査：平成 28 年 6 月～7 月 31 日

5 回収結果

子育て世帯の生活状況等に関するアンケート：651 件

子どもの貧困対策に関する支援者アンケート：112 件

6 調査結果の見方等

- ・報告書中の「n=」とあるのはパーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。
- ・算出されたパーセントは小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合があります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。
- ・自由記述については、原則として原文のままとしました。判読不明な文字は●で表記しました。

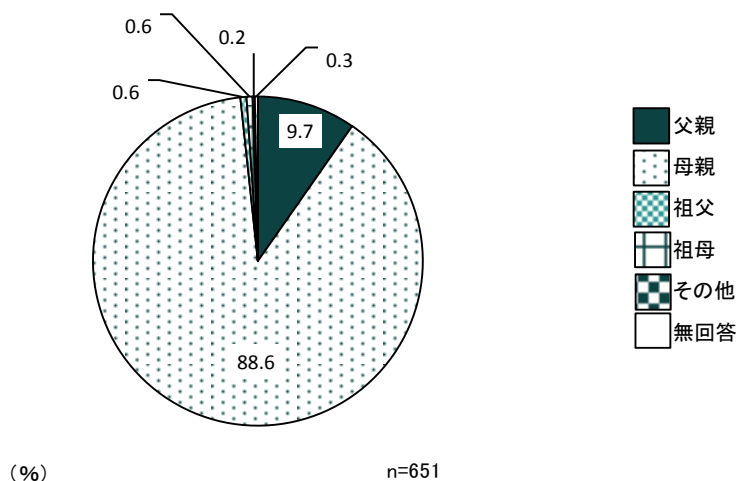
Ⅱ 子育て世帯の生活状況等に関するアンケート調査結果

1 回答者の属性について

(1) この調査に回答いただいている方（今後は「あなた」と表現します）の、お子さんから見た続柄についてお答えください。あてはまるもの1つに○をつけてください。

お子さんとの続柄について、「母親」が88.6%と最も高くなっています。ついで、「父親」が9.7%、「祖父」と「祖母」がともに0.6%となっています。

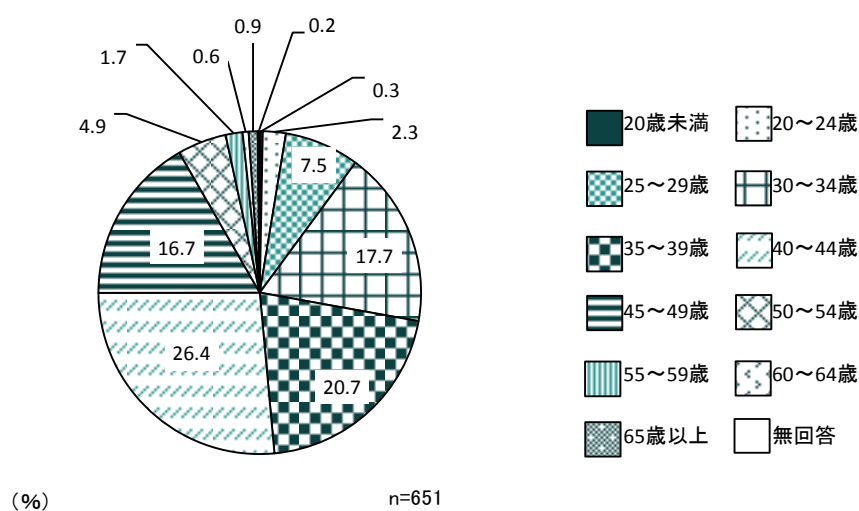
【全体（図）】



(2) あなたの年齢は現在おいくつですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢について、「40～44歳」が26.4%と最も高くなっています。ついで、「35～39歳」が20.7%、「30～34歳」が17.7%となっています。

【全体（図）】

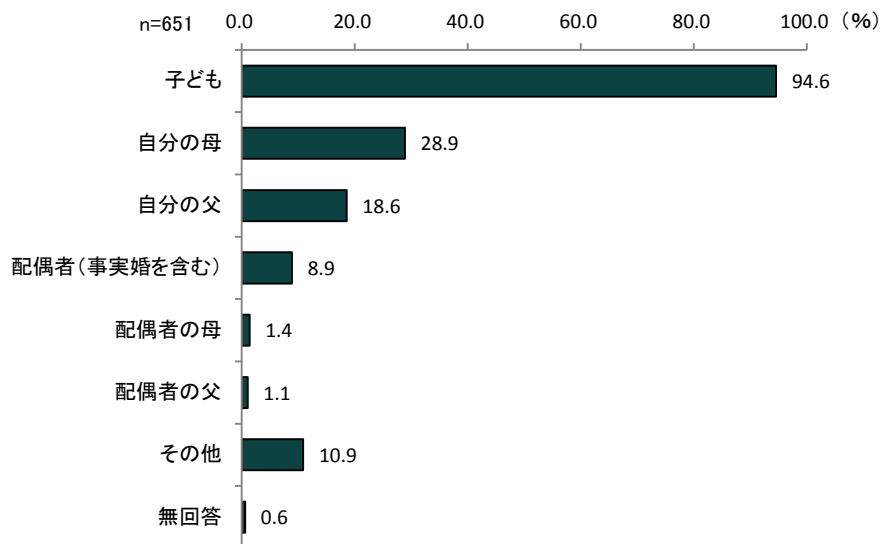


2 家庭環境について

(3) 同居している家族について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

同居している家族について、「子ども」が 94.6%と最も高くなっています。ついで、「自分の母」が 28.9%、「自分の父」が 18.6%となっています。

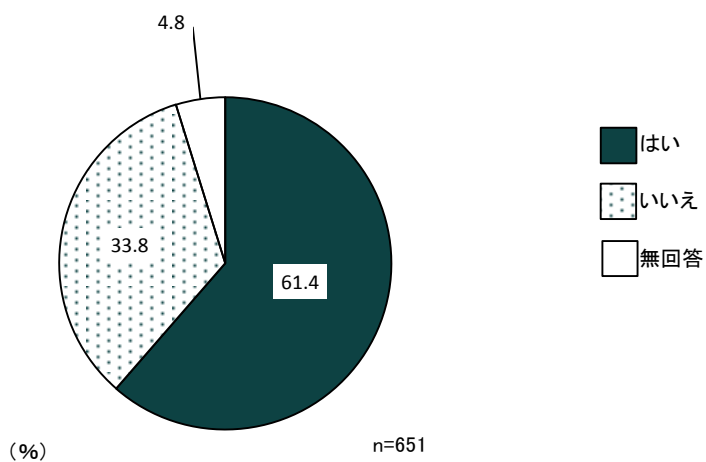
【全体（図）】



(4) 同居はしていなくても、近居（おおむね 30 分以内で行き来できる範囲）に、子育ての支援を頼める親族がいますか。

近居に子育ての支援を頼める親族がいるかについて、「はい」が 61.4%、「いいえ」が 33.8%、となっています。

【全体（図）】

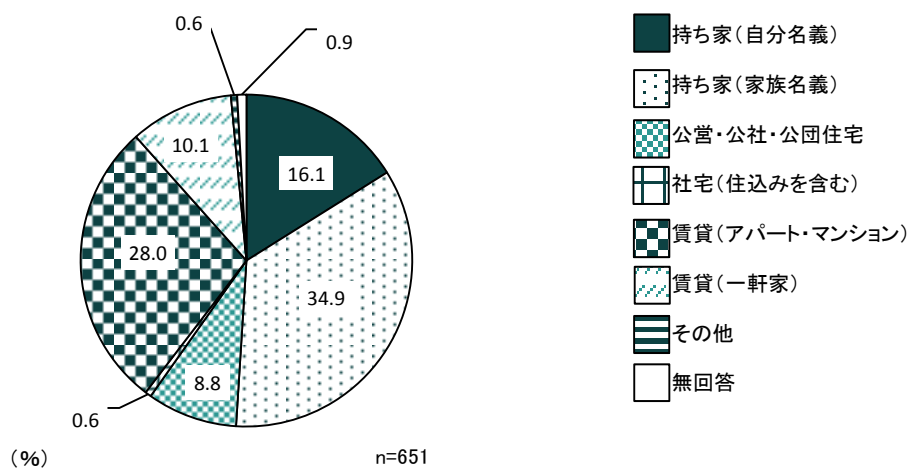


(5) あなたのお住まいについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

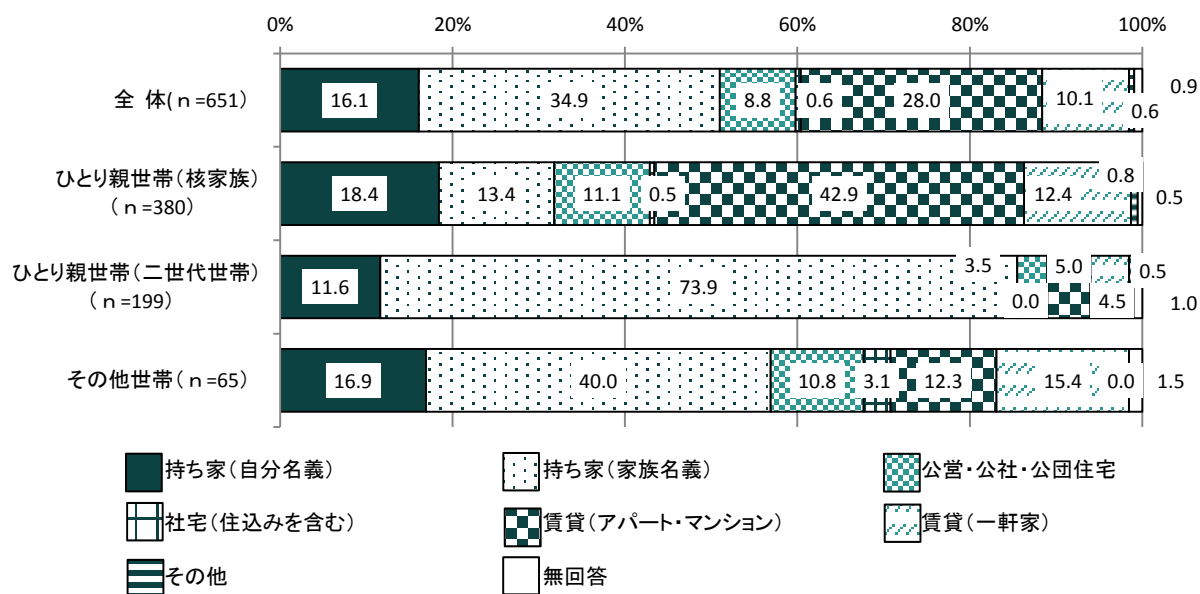
お住まいについて、「持ち家（家族名義）」が 34.9%と最も高くなっています。ついで、「賃貸（アパート・マンション）」が 28.0%、「持ち家（自分名義）」が 16.1%となっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』（42.9%）は、他の世帯と比べると、「賃貸（アパート・マンション）」が高くなっており、『ひとり親世帯（二世帯世帯）』（73.9%）は、他の世帯と比べると、「持ち家（家族名義）」が高くなっています。

【全体（図）】



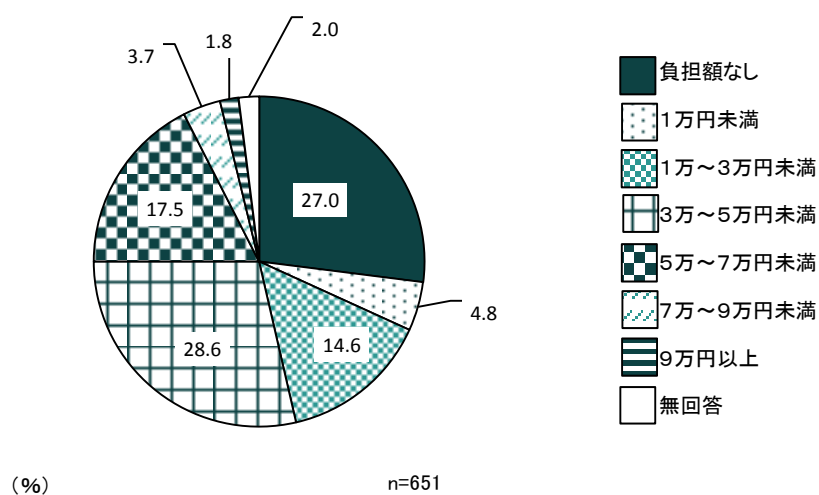
【世帯構成別（図）】



(6) 家賃や住宅ローンなど、あなたが毎月負担している住居費の額について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

毎月負担している住居の額について、「3万～5万円未満」が28.6%と最も高くなっています。ついで、「負担額なし」が27.0%、「5万～7万円未満」が17.5%となっています。

【全体（図）】

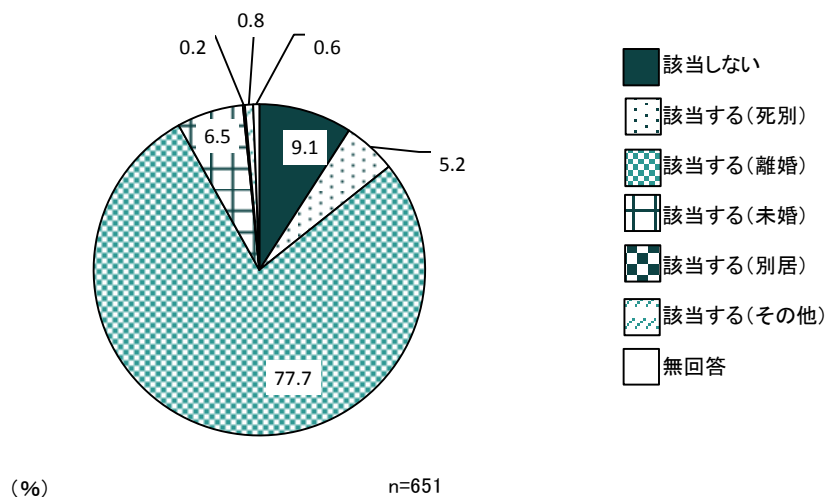


3 ひとり親世帯の現状について

(7) あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「ひとり親世帯」に該当するかについて、「該当する（離婚）」が77.7%と最も高くなっています。ついで、「該当しない」が9.1%、「該当する（未婚）」が6.5%となっています。

【全体（図）】

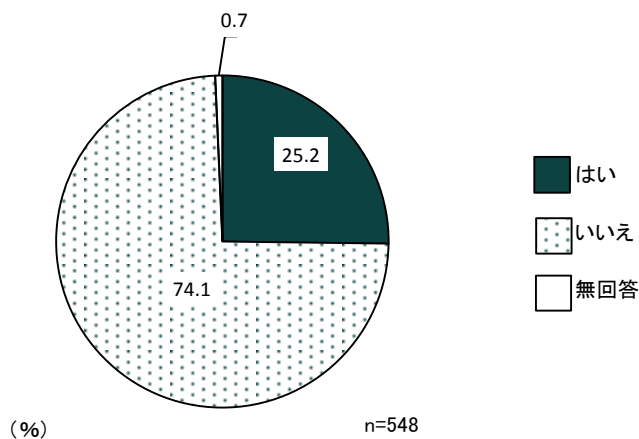


(7) で「3 該当する（離婚）」「4 該当する（未婚）」と答えた方のみ。

(8) お子さんの親（相手方）から養育費をもらっていますか。

お子さんの親（相手方）から養育費をもらっているかについて、「はい」が25.2%、「いいえ」が74.1%となっています。

【全体（図）】

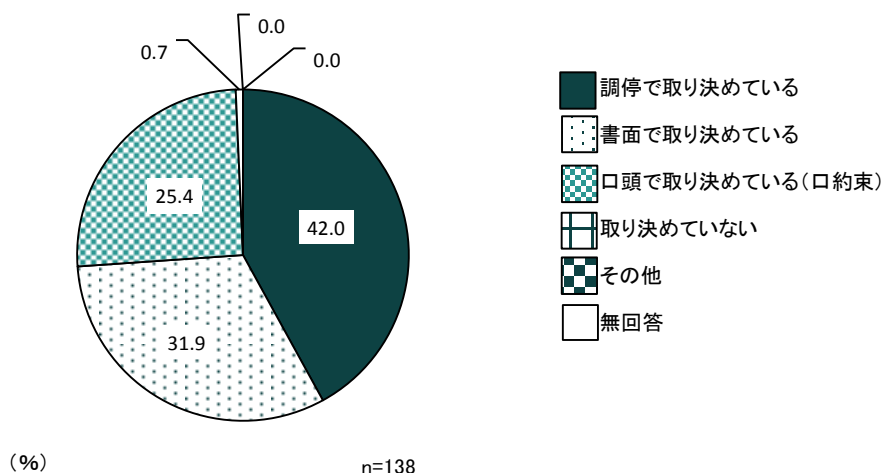


(9)・(10)・(11)は、(8)で「1 はい」と答えた方のみ。

(9) 養育費について取り決めをしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

養育費の取り決めについて、「調停で取り決めている」が42.0%と最も高くなっています。ついで、「書面で取り決めている」が31.9%、「口頭で取り決めている（口約束）」が25.4%となっています。

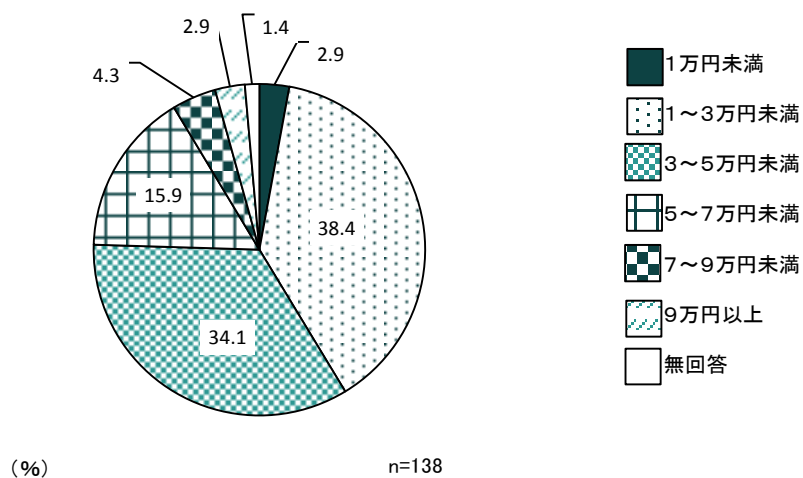
【全体（図）】



(10) 取り決めた養育費（月額：お子さんが複数の場合は月の総額）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

養育費の額について、「1～3万円未満」が38.4%と最も高くなっています。ついで、「3～5万円未満」が34.1%、「5～7万円未満」が15.9%となっています。

【全体（図）】

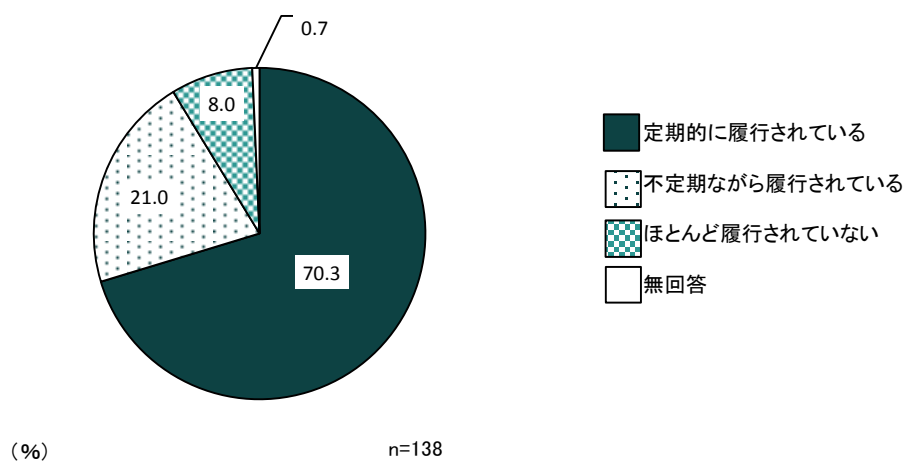


(11) 養育費は取り決めどおりに履行されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

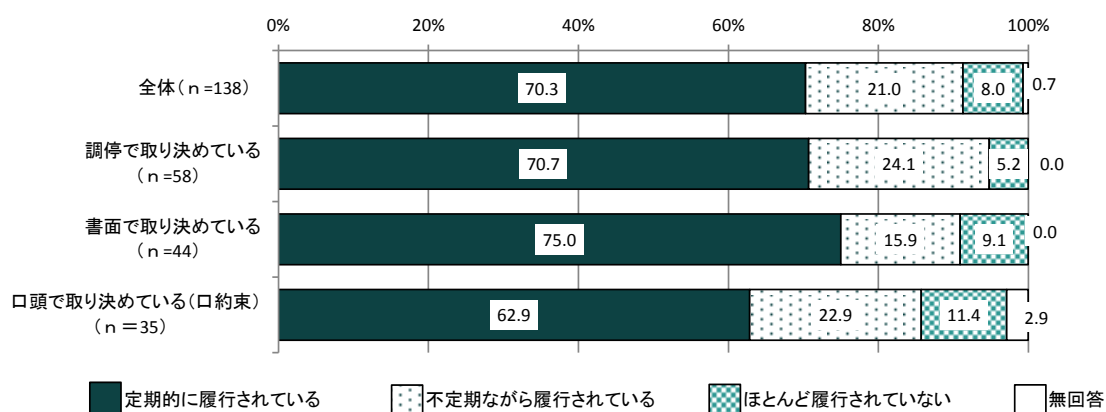
養育費の取り決めが履行されているかについて、「定期的に履行されている」が70.3%と最も高くなっています。ついで、「不定期ながら履行されている」が21.0%、「ほとんど履行されていない」が8.0%となっています。

養育費の取り決め内容別にみると、『書面で取り決めている』(75.0%)は、他の取り決めと比べると、「定期に履行されている」が高くなっており、『口頭で取り決めている(口約束)』(22.9%)は、他の取り決めと比べると、「ほとんど履行されていない」が高くなっています。

【全体 (図)】



【養育費の取り決め内容別 (図)】

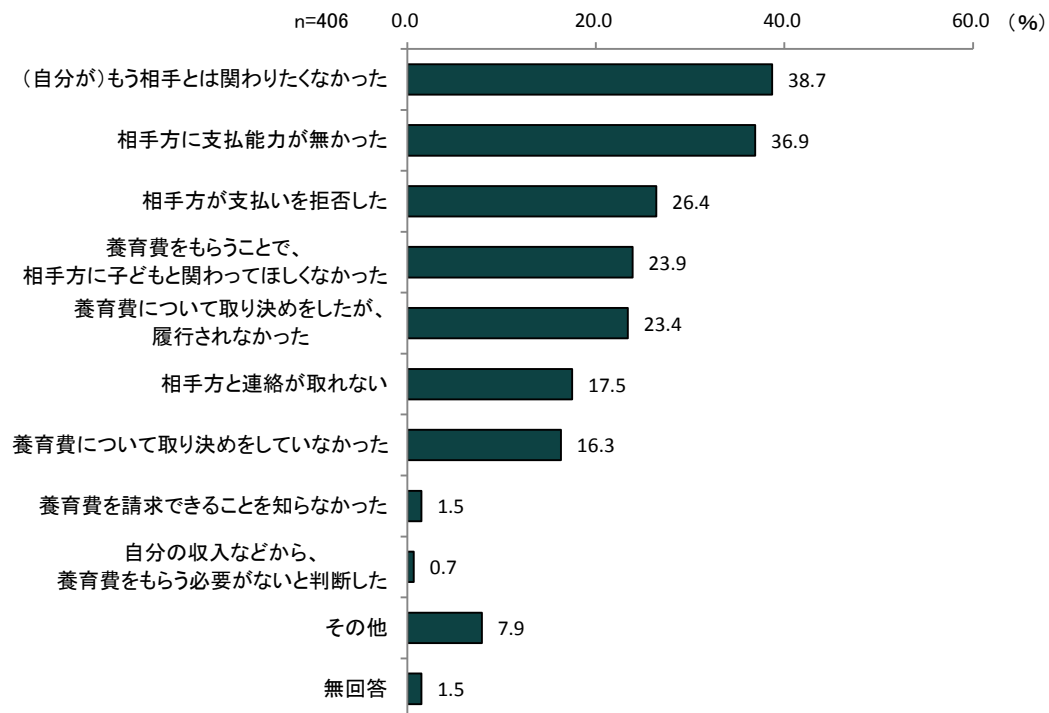


(8) で「2 いいえ」と答えた方のみ。

(12) 養育費をもらっていない理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

養育費をもらっていない理由について、「(自分が) もう相手とは関わりたくなかった」が 38.7%と最も高くなっています。ついで、「相手方に支払能力が無かった」が 36.9%、「相手方が支払いを拒否した」が 26.4%となっています。

【全体 (図)】



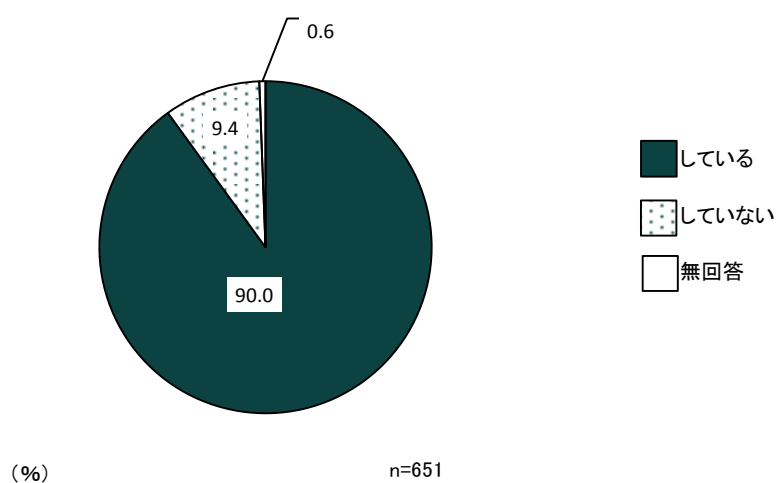
4 仕事について

(13) あなたは、現在、収入をともなう仕事をしていますか。

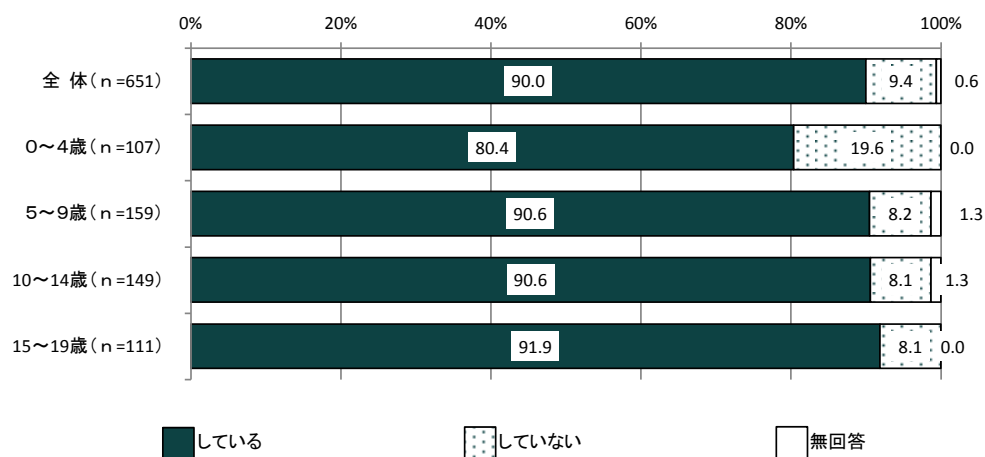
現在、収入をともなう仕事をしているかについて、「している」が90.0%、「していない」が9.4%となっています。

末子の年齢別にみると、『0～4歳』（19.6%）は、他の年齢と比べると、「していない」が高くなっています。

【全体（図）】



【末子の年齢別（図）】

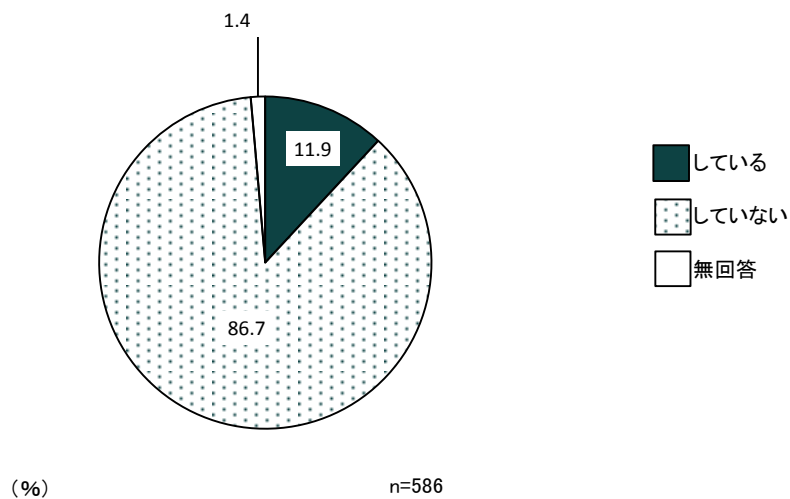


(14)・(15)は、(13)で「1 している」と答えた方のみ。

(14) 複数の仕事をかけもち（ダブルワーク）していますか。

複数の仕事をかけもちしているかについて、「している」が11.9%、「していない」が86.7%となっています。

【全体（図）】

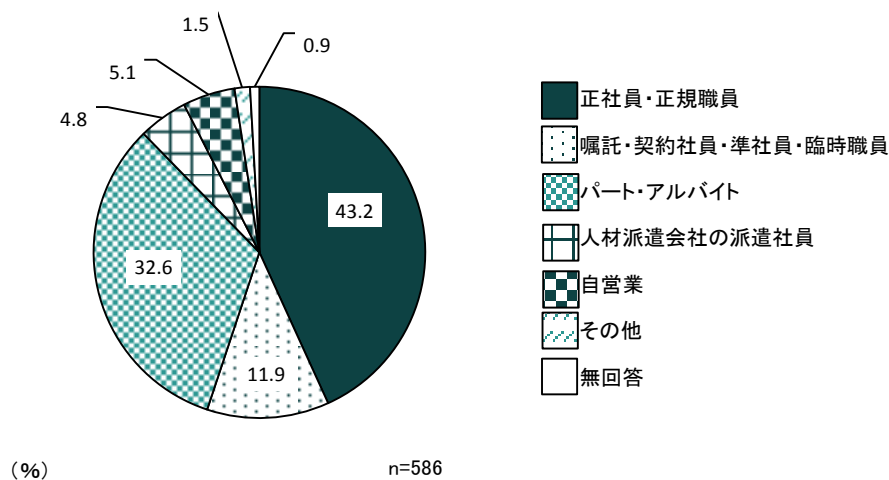


(15) 現在の仕事の就業形態は、次のどれにあてはまりますか。(複数の仕事をお持ちの方は、主な仕事について、1つだけ○をつけてください。)

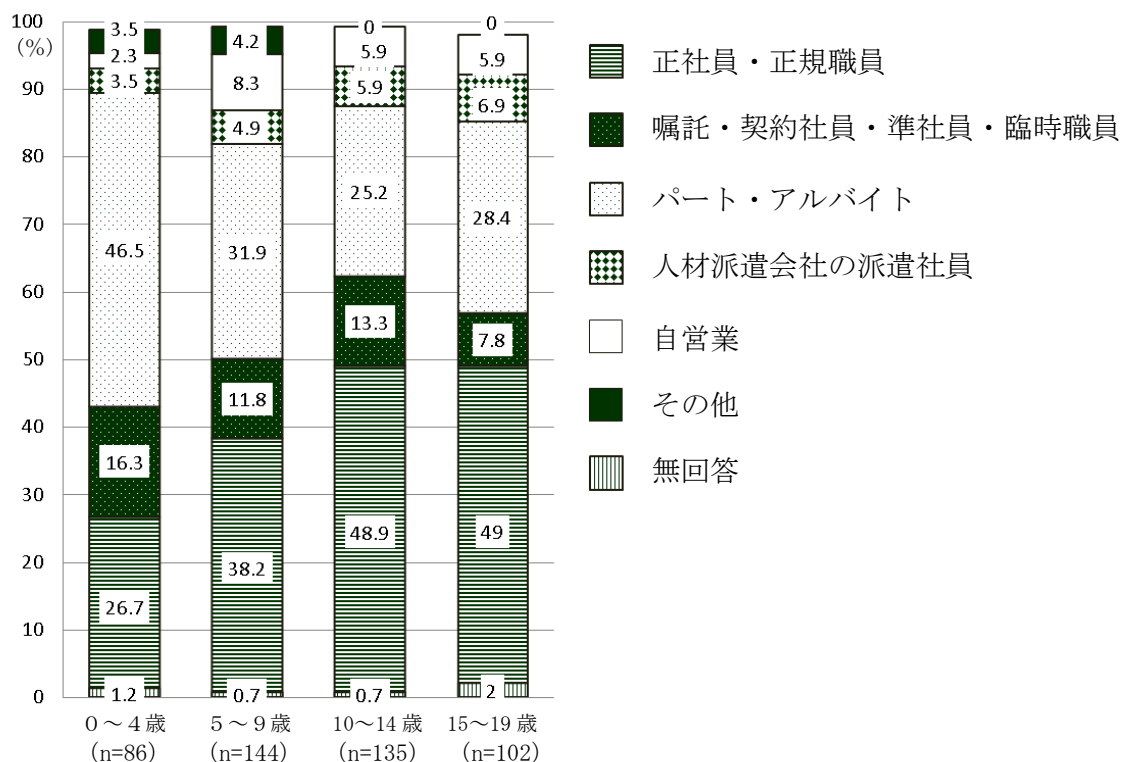
現在の仕事の就業形態について、「正社員・正規職員」が43.2%と最も高くなっています。ついで、「パート・アルバイト」が32.6%、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」が11.9%となっています。

末子の年齢別にみると、『0～4歳』から『15～19歳』にかけて末子の年齢が上がるにつれて、「正社員・正規職員」が高くなっています。また、『0～4歳』(46.5%)は、他の年齢と比べると、「パート・アルバイト」が高くなっています。

【全体 (図)】



【末子の年齢別 (図)】

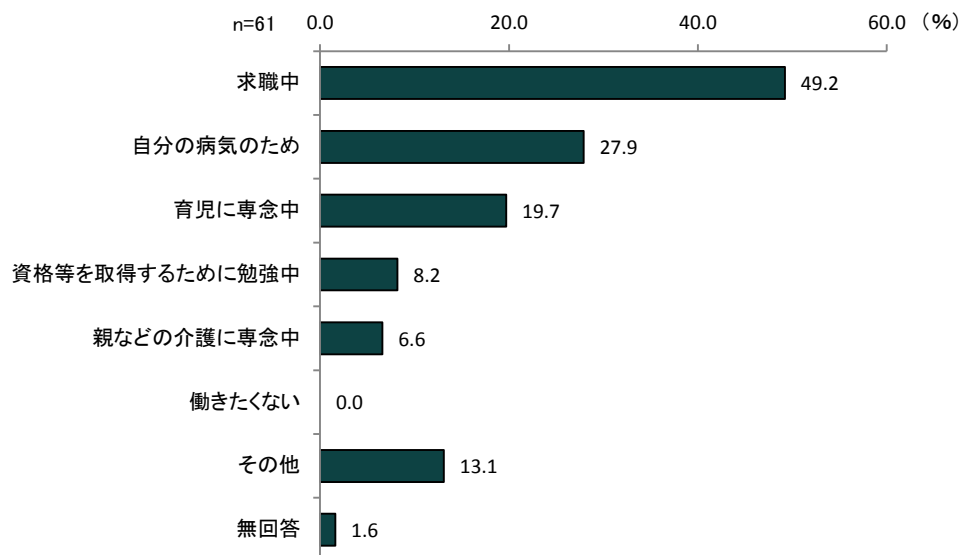


(13) で収入をとまなう仕事を「2 していない」とお答えの方のみ。

(16) 仕事をしていない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事をしていない理由について、「求職中」が 49.2%と最も高くなっています。ついで、「自分の病気のため」が 27.9%、「育児に専念中」が 19.7%となっています。

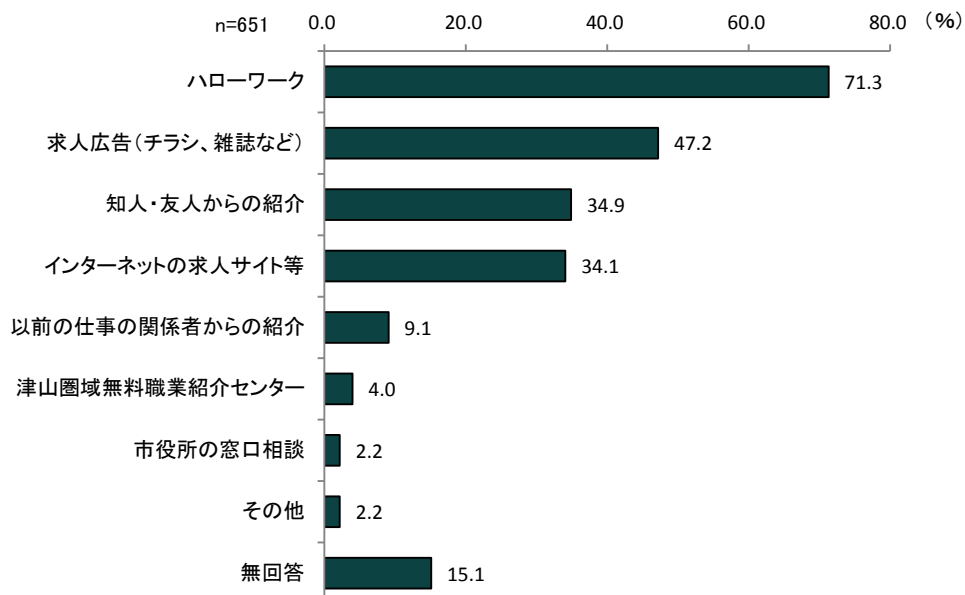
【全体（図）】



(17) 仕事を探すとき、どのようにして情報を集めますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

仕事を探すときの情報を集める方法について、「ハローワーク」が 71.3%と最も高くなっています。ついで、「求人広告（チラシ、雑誌など）」が 47.2%、「知人・友人からの紹介」が 34.9%となっています。

【全体（図）】



（１８） 仕事を選ぶとき、何を優先して決めますか。主なものに３つまで○をつけてください。

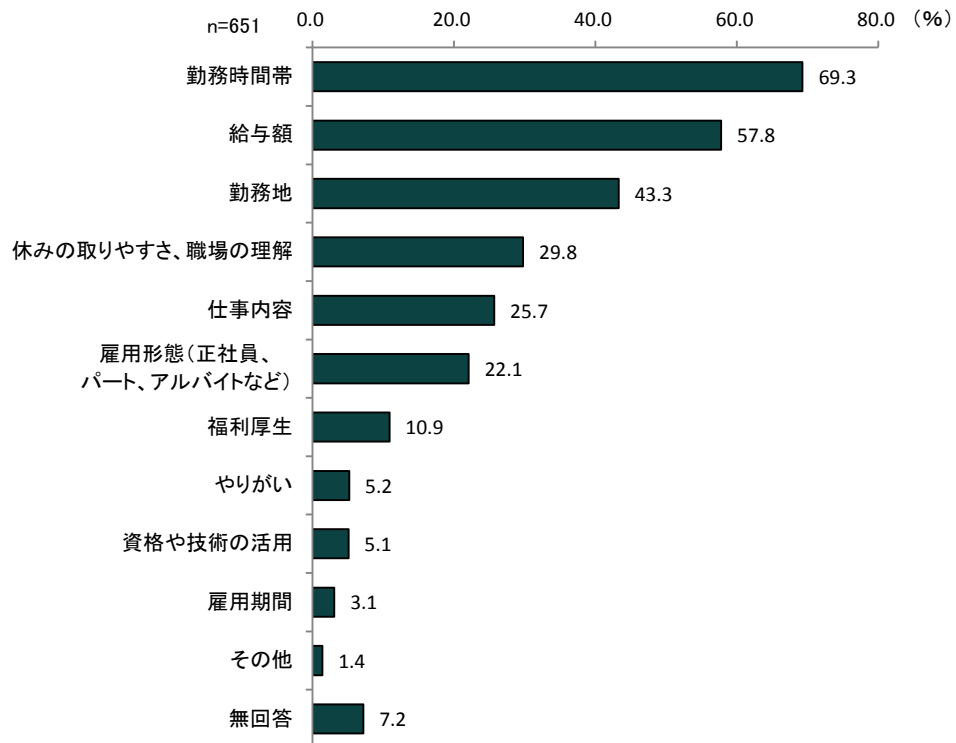
仕事を選ぶときに優先することがらについて、「勤務時間帯」が 69.3%と最も高くなっています。ついで、「給与額」が 57.8%、「勤務地」が 43.3%となっています。

末子の年齢別にみると、『0～4歳』から『15～19歳』にかけて末子の年齢が上がるにつれて、「勤務時間帯」、「勤務地」、「休みの取りやすさ、職場の理解」が低くなっており、「雇用形態（正社員、パート、アルバイトなど）」が高くなっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』は、『その他世帯』と比べると、「給与額」、「雇用形態（正社員、パート、アルバイトなど）」、「福利厚生」が高くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「勤務地」、「休みの取りやすさ、職場の理解」が高くなっており、「給与額」、「雇用形態（正社員、パート、アルバイトなど）」が低くなっています。

【全体（図）】



【末子の年齢・世帯構成・総収入別（表）】

		サンプル数 (n)	勤務時間帯	給与額	勤務地	職場の理解 休みの取りやすさ	仕事内容	雇用形態 (正社員、パート、アルバイトなど)	福利厚生	やりがい	資格や技術の活用	雇用期間	その他	無回答
末子の年齢	0～4歳	107	76.6	47.7	48.6	47.7	26.2	15.9	13.1	3.7	3.7	3.7	1.9	1.9
	5～9歳	159	73.6	57.9	44.7	35.8	18.2	17.6	8.8	4.4	5.7	3.1	0.0	10.1
	10～14歳	149	65.1	57.0	43.6	21.5	23.5	27.5	10.7	3.4	4.0	2.0	1.3	8.7
	15～19歳	111	62.2	64.9	38.7	18.9	31.5	27.9	11.7	9.0	5.4	6.3	0.0	8.1
世帯構成	ひとり親世帯(核家族)	380	72.9	60.5	38.4	31.1	23.7	23.2	11.8	3.4	4.2	3.4	1.1	6.1
	ひとり親世帯(二世帯世帯)	199	65.3	57.3	52.3	27.6	27.6	23.1	11.6	8.0	5.0	2.5	1.0	6.5
	その他世帯	65	58.5	44.6	44.6	24.6	32.3	13.8	3.1	7.7	9.2	1.5	4.6	15.4
総収入	0～100万未満	60	71.7	38.3	51.7	41.7	21.7	13.3	10.0	8.3	3.3	3.3	3.3	5.0
	100～200万未満	241	80.1	56.0	46.5	33.6	29.9	19.9	13.7	4.1	2.9	4.1	0.4	4.1
	0～200万未満	301	78.4	52.5	47.5	35.2	28.2	18.6	13.0	5.0	3.0	4.0	1.0	4.3
	200万以上	321	60.1	64.2	39.6	24.9	23.7	25.9	9.0	5.9	7.2	2.2	1.9	9.0

（１９） 就労に向けて、必要だと感じる支援は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

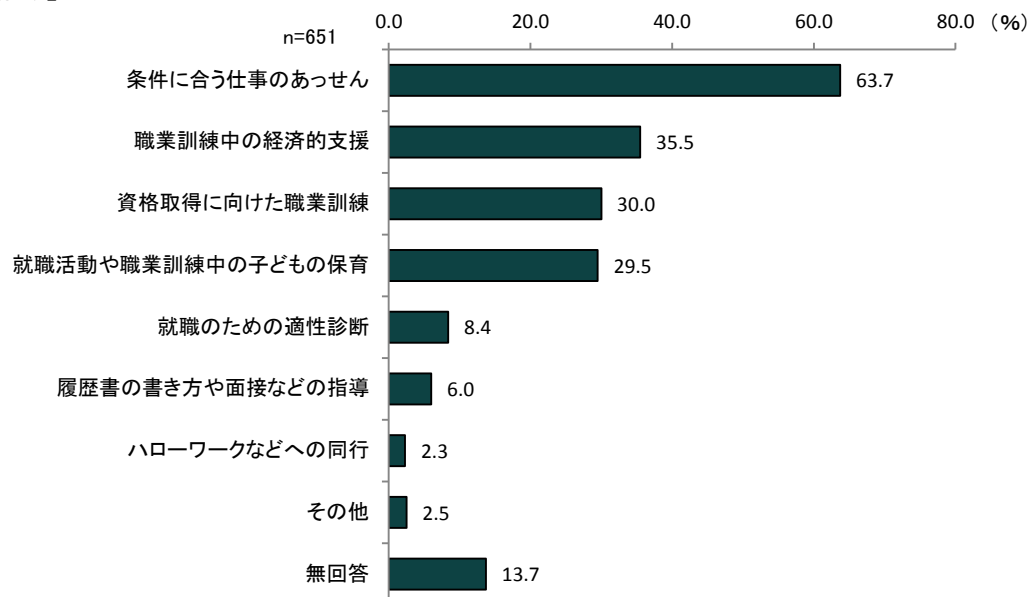
就労に必要な支援について、「条件に合う仕事のあっせん」が 63.7%と最も高くなっています。ついで、「職業訓練中の経済的支援」が 35.5%、「資格取得に向けた職業訓練」が 30.0%となっています。

末子の年齢別にみると、『0～4歳』から『15～19歳』にかけて末子の年齢が上がるにつれて、「就職活動や職業訓練中の子どもの保育」が低くなっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』は、『その他世帯』と比べると、「条件に合う仕事のあっせん」、「職業訓練中の経済的支援」、「資格取得に向けた職業訓練」が高くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「職業訓練中の経済的支援」、「資格取得に向けた職業訓練」が低くなっています。

【全体（図）】



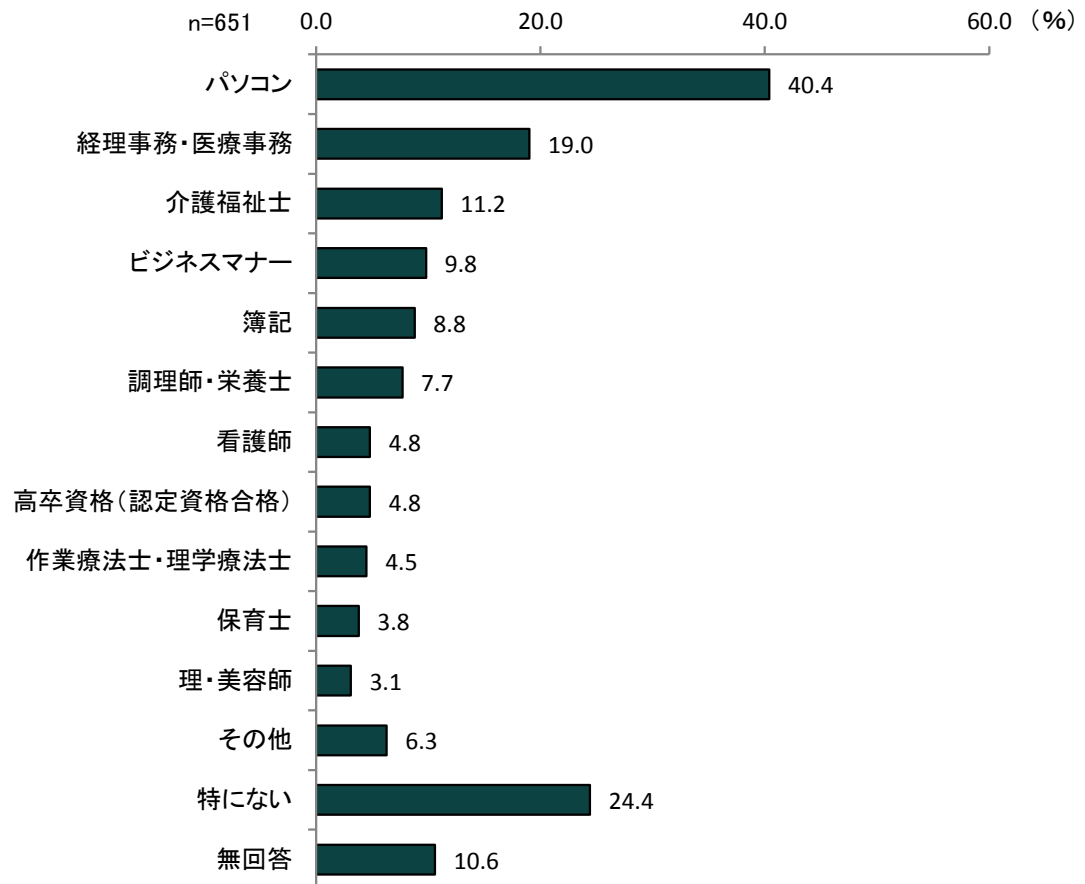
【末子の年齢・世帯構成・総収入別（表）】

		サンプル数 (n)	条件に合う仕事のあっせん	職業訓練中の経済的支援	資格取得に向けた職業訓練	就職活動や職業訓練中の子どもの保育	就職のための適性診断	履歴書の書き方や面接などの指導	ハローワークなどへの同行	その他	無回答
末子の年齢	0～4歳	107	60.7	31.8	20.6	42.1	5.6	8.4	0.9	2.8	12.1
	5～9歳	159	64.2	37.7	29.6	34.0	11.9	10.7	3.1	1.3	16.4
	10～14歳	149	63.8	31.5	27.5	23.5	6.0	4.0	1.3	2.7	15.4
	15～19歳	111	62.2	39.6	37.8	16.2	9.0	1.8	3.6	2.7	13.5
世帯構成	ひとり親世帯（核家族）	380	66.1	36.1	29.5	25.5	6.1	5.3	1.8	2.9	11.8
	ひとり親世帯（二世帯世帯）	199	65.8	38.2	33.7	33.2	13.6	9.0	2.5	1.0	13.6
	その他世帯	65	47.7	24.6	21.5	43.1	6.2	1.5	4.6	4.6	21.5
総収入	0～100万未満	60	53.3	26.7	23.3	25.0	5.0	1.7	1.7	1.7	20.0
	100～200万未満	241	70.1	36.9	29.5	27.0	8.7	5.8	2.5	2.5	8.7
	0～200万未満	301	66.8	34.9	28.2	26.6	8.0	5.0	2.3	2.3	11.0
	200万以上	321	61.7	37.1	32.4	33.0	9.0	6.5	2.2	2.5	14.3

(20) 今後身につけたい資格や知識がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

今後身につけたい資格や知識について、「パソコン」が40.4%と最も高くなっています。ついで、「経理事務・医療事務」が19.0%、「介護福祉士」が11.2%となっています。

【全体（図）】

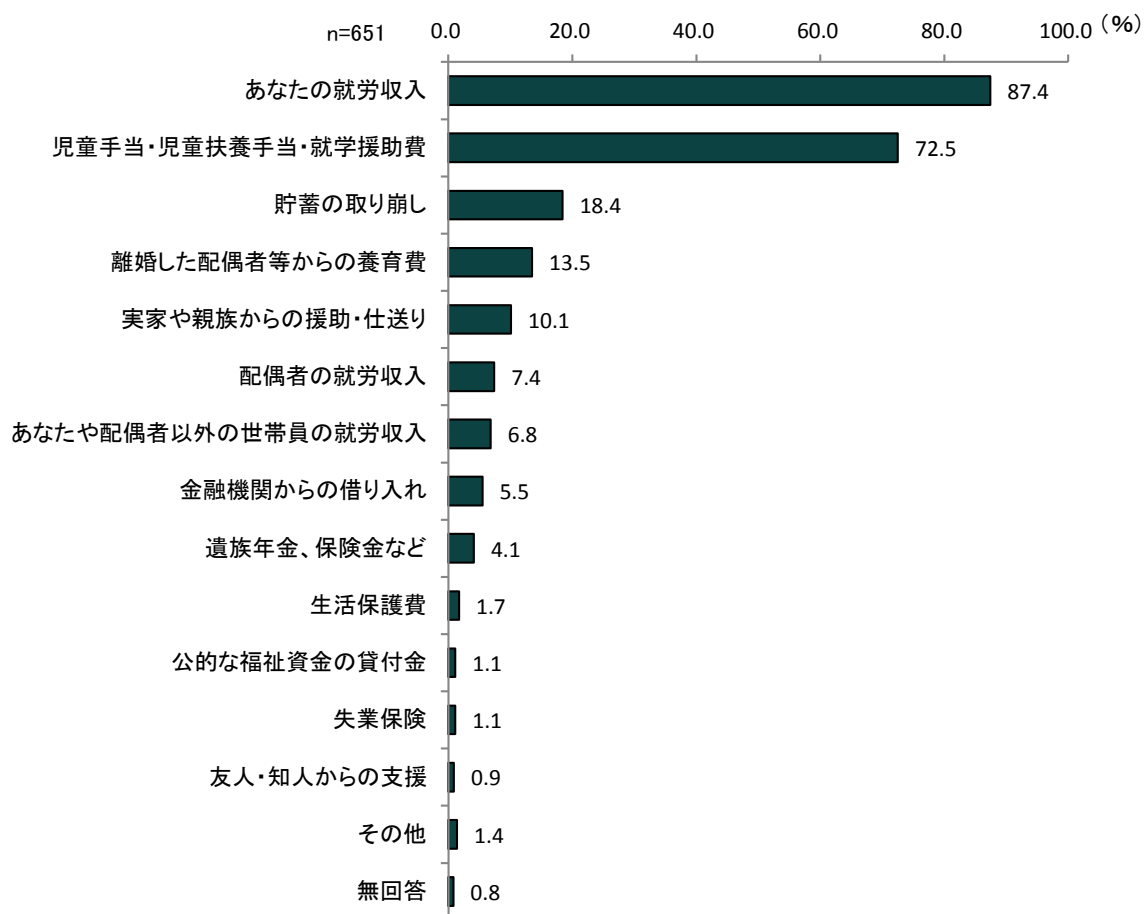


5 経済的な状況について

(21) 現在、どのような収入等で生計を立てていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

現在、どのような収入等で生計を立てているかについて、「あなたの就労収入」が87.4%と最も高くなっています。ついで、「児童手当・児童扶養手当・就学援助費」が72.5%、「貯蓄の取り崩し」が18.4%となっています。

【全体（図）】

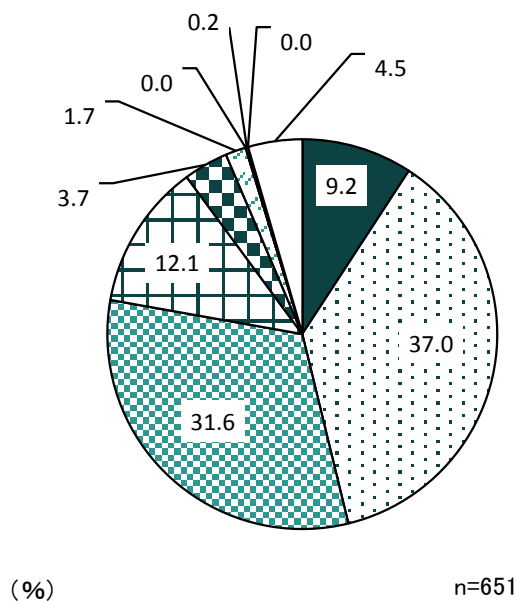


(22) 年間の世帯の総収入（養育費や手当等すべての収入を含みます）はどのくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

年間の世帯総収入について、「100～200 万円未満」が 37.0%と最も高くなっています。ついで、「200～300 万円未満」が 31.6%、「300～400 万円未満」が 12.1%となっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』（41.3%）と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』（33.2%）は、「100～200 万円未満」が高くなっており、『その他世帯』（29.2%）は、「200～300 万円未満」が高くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成別（表）】

		サンプル数 (n)	0 万円未満	100 万円未満	200 万円未満	300 万円未満	400 万円未満	500 万円未満	600 万円未満	700 万円未満	800 万円以上	無回答
世帯構成	ひとり親世帯（核家族）	380	8.2	41.3	34.7	9.2	2.9	0.3	0.0	0.0	0.0	3.4
	ひとり親世帯（二世帯世帯）	199	11.6	33.2	26.6	14.6	3.5	4.5	0.0	0.5	0.0	5.5
	その他世帯	65	9.2	23.1	29.2	23.1	9.2	1.5	0.0	0.0	0.0	4.6

（23） 家計において負担の大きい経費は何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

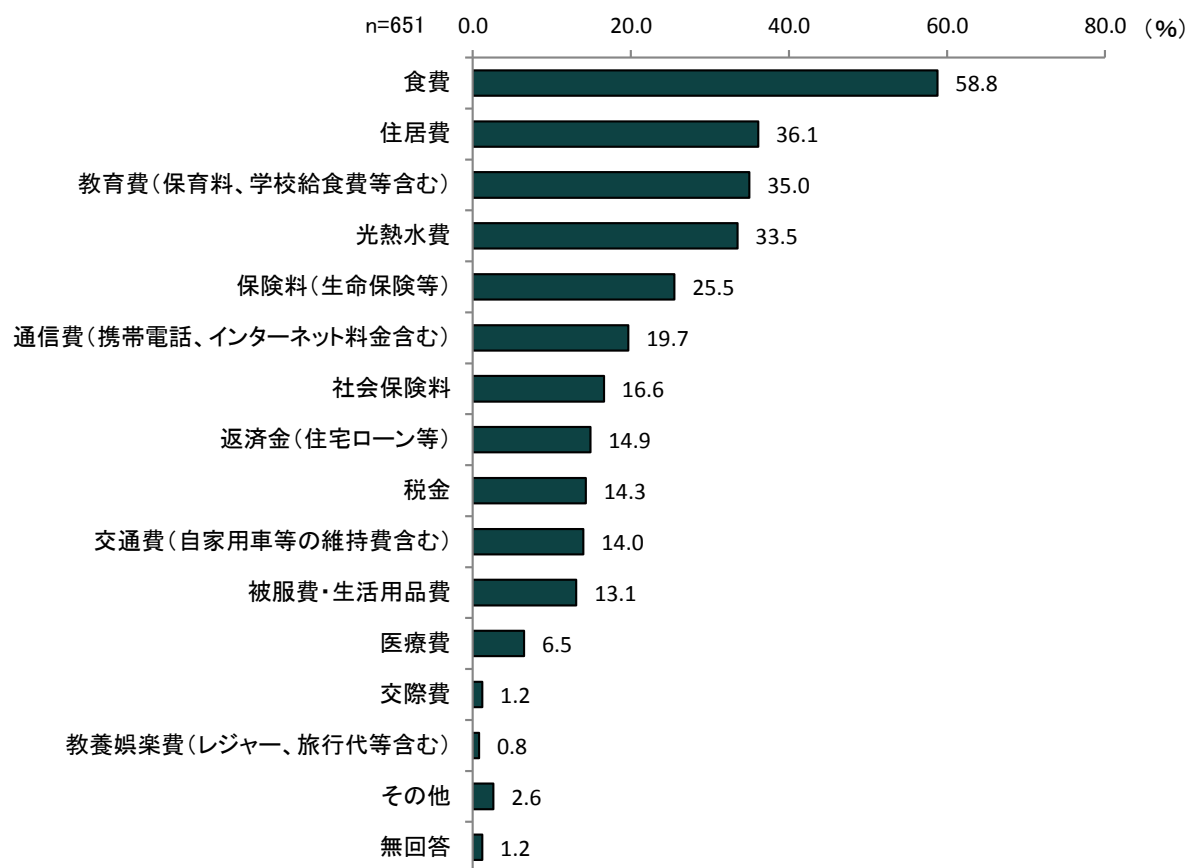
家計で負担の大きい経費について、「食費」が58.8%と最も高くなっています。ついで、「住居費」が36.1%、「教育費（保育料、学校給食費等含む）」が35.0%となっています。

末子の年齢別にみると、『0～4歳』から『15～19歳』にかけて末子の年齢が上がるにつれて、「住居費」、「税金」、「被服費・生活用品費」が低くなっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』（51.3%）は、他の世帯と比べると、「住居費」が高くなっています。また、『ひとり親世帯（核家族）』（19/2%）と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』（22.6%）は、『その他世帯』と比べると、「教養娯楽費（レジャー、旅行代等含む）」が高くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「住居費」と「光熱水費」が低くなっており、「通信費（携帯電話、インターネット料金含む）」が高くなっています。

【全体（図）】



【末子の年齢・世帯構成・総収入別（表）】

		サ ン プ ル 数 （ n ）	食 費	住 居 費	費（教育費 等含む） （保育料、 学校給食	光 熱 水 費	保 険 料 （生命保険等）	通 信 費 （携帯電話、 インターネット 料金含 む）	社 会 保 険 料	返 済 金 （住宅ローン等）
末子の年齢	0～4歳	107	57.0	42.1	19.6	37.4	29.0	15.9	12.1	14.0
	5～9歳	159	62.9	39.0	37.7	32.7	27.7	13.2	15.7	12.6
	10～14歳	149	57.0	32.9	36.2	33.6	22.8	20.8	22.1	14.8
	15～19歳	111	55.9	26.1	39.6	26.1	23.4	31.5	15.3	21.6
世帯構成	ひとり親世帯 （核家族）	380	54.2	51.3	15.0	32.9	10.5	34.7	1.3	0.8
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	65.8	11.6	14.1	36.7	19.1	32.7	1.0	0.5
	その他世帯	65	69.2	23.1	18.5	43.1	7.7	29.2	1.5	1.5
総収入	0～100 万未満	60	56.7	23.3	16.7	25.0	16.7	41.7	1.7	1.7
	100～200 万未満	241	59.3	42.7	12.0	36.5	14.5	32.4	1.7	0.0
	0～200 万未満	301	58.8	38.9	13.0	34.2	15.0	34.2	1.7	0.3
	200 万以上	321	60.4	34.3	17.4	37.1	11.5	33.3	0.9	1.2
		サ ン プ ル 数 （ n ）	税 金	持（交通費 費含む） （自家用車 等の維	生被 活服 用品 費・ 費	医 療 費	交 際 費	代（教養 等含む） （レジャー、 旅行	そ の 他	無 回 答
末子の年齢	0～4歳	107	16.8	18.7	24.3	1.9	0.9	0.9	0.0	1.9
	5～9歳	159	15.1	13.8	15.1	5.7	0.6	1.3	2.5	1.3
	10～14歳	149	14.1	9.4	11.4	7.4	1.3	0.7	3.4	2.7
	15～19歳	111	9.9	15.3	7.2	8.1	2.7	0.9	6.3	0.0
世帯構成	ひとり親世帯 （核家族）	380	4.2	11.1	15.8	13.9	26.6	19.2	2.6	1.1
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	7.5	16.6	16.6	14.1	24.6	22.6	3.5	2.0
	その他世帯	65	13.8	20.0	20.0	16.9	23.1	12.3	0.0	0.0
総収入	0～100 万未満	60	8.3	16.7	10.0	18.3	28.3	18.3	1.7	1.7
	100～200 万未満	241	8.3	14.5	16.6	14.5	27.8	22.8	1.7	0.4
	0～200 万未満	301	8.3	15.0	15.3	15.3	27.9	21.9	1.7	0.7
	200 万以上	321	4.0	14.0	17.4	12.5	24.0	18.7	3.7	0.3

6 子育てや家庭教育について

(24) 子育てをしていて特に大変だと感じることは何ですか。主なものに3つまで○をつけてください。

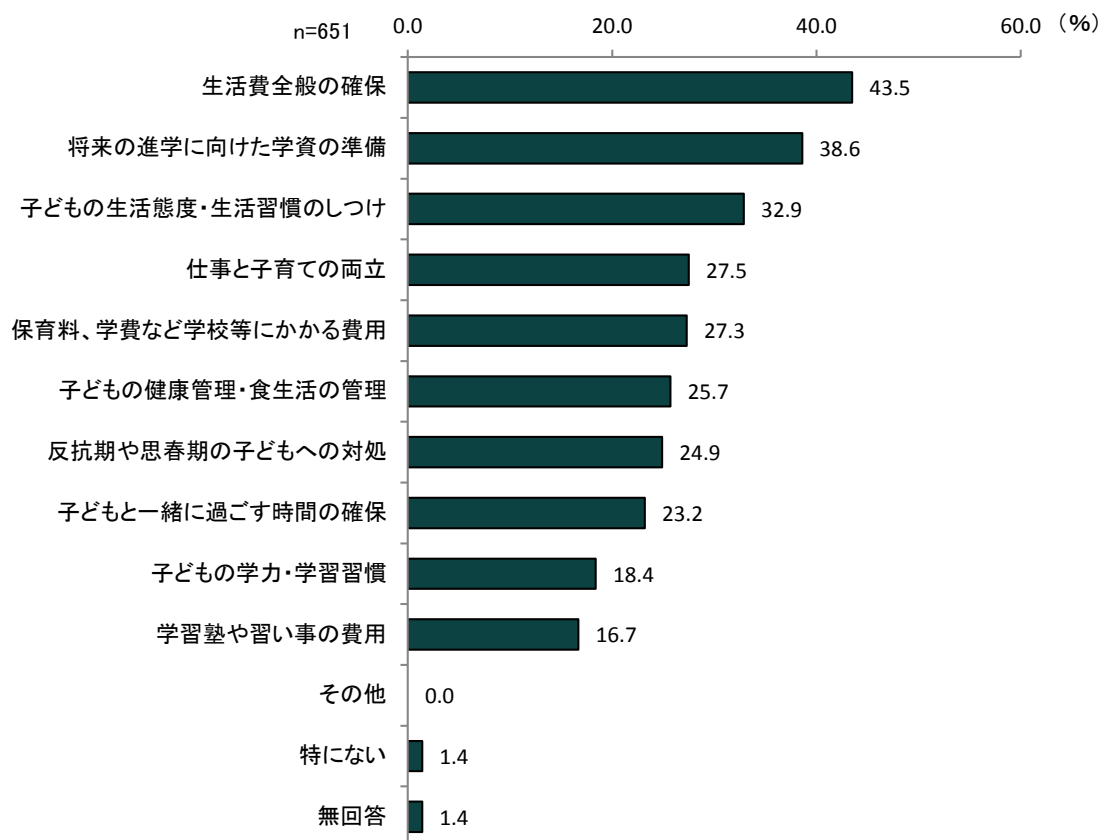
子育てで特に大変だと感じることについて、「生活費全般の確保」が43.5%と最も高くなっています。ついで、「将来の進学に向けた学資の準備」が38.6%、「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」が32.9%となっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』は、『その他世帯』と比べると、「将来の進学に向けた学資の準備」、「仕事と子育ての両立」が高くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「生活費全般の確保」、「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」が高くなっており、「将来の進学に向けた学資の準備」が低くなっています。

回答者別にみると、『父親』は『母親』と比べると、「生活費全般の確保」、「将来の進学に向けた学資の準備」が低くなっており、「子どもの学力・学習習慣」が高くなっています。

【全体（図）】



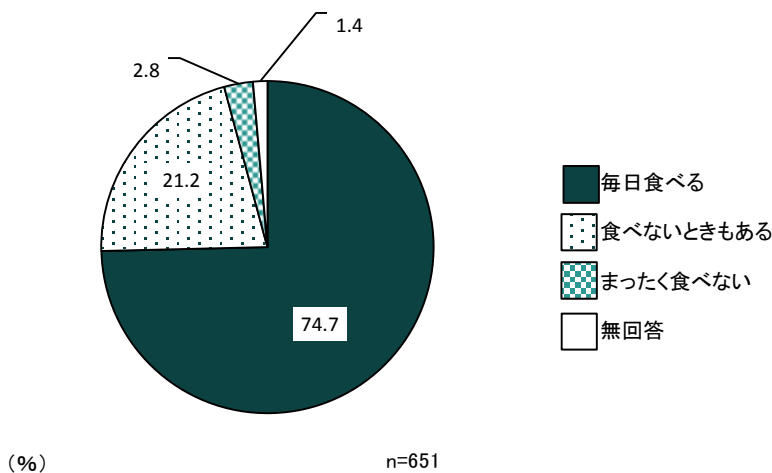
【世帯構成別・総収入・回答者別（表）】

		サンプル数（n）	生活費全般の確保	将来の進学に向けた	子どもの生活態度・生活習慣のしつけ	仕事と子育ての両立	保育料、学費など費用	食生活の健康管理・子どもの健康	反抗期や思春期の子どもへの対処	子どもと一緒の過ごす時間の確保	子どもの学力・学習習慣	学習塾や習い事の費用	その他	特にな	無回答
世帯構成	ひとり親世帯（核家族）	380	48.4	39.2	29.7	28.4	27.6	27.4	25.8	22.9	14.7	16.6	0.0	0.5	1.3
	ひとり親世帯（二世帯世帯）	199	36.2	41.2	39.2	28.1	26.6	23.1	19.6	24.6	20.6	17.6	0.0	3.5	1.0
	その他世帯	65	40.0	27.7	32.3	20.0	27.7	23.1	36.9	23.1	30.8	16.9	0.0	0.0	1.5
総収入	0～100万未満	60	50.0	28.3	45.0	23.3	21.7	33.3	30.0	18.3	3.3	13.3	0.0	3.3	0.0
	100～200万未満	241	48.5	35.3	36.1	28.2	28.6	25.7	24.1	24.9	20.3	16.2	0.0	0.8	0.4
	0～200万未満	301	48.8	33.9	37.9	27.2	27.2	27.2	25.2	23.6	16.9	15.6	0.0	1.3	0.3
	200万以上	321	39.3	44.2	28.3	27.4	28.0	23.4	25.5	23.1	20.2	18.4	0.0	1.2	1.9
回答者	父親	63	33.3	31.7	38.1	27.0	23.8	33.3	22.2	20.6	33.3	12.7	0.0	3.2	0.0
	母親	577	44.7	40.0	31.7	27.9	28.1	24.6	25.0	23.9	16.1	17.3	0.0	1.2	1.4

（25） お子さんは、毎日朝ごはんを食べていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

お子さんの朝ごはんについて、「毎日食べる」が74.7%と最も高くなっています。ついで、「食べないときもある」が21.2%、「まったく食べない」が2.8%となっています。

【全体（図）】

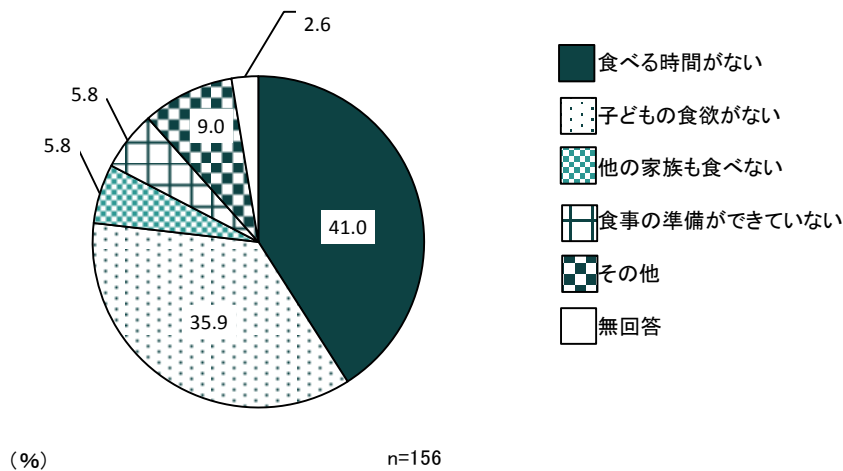


(25) で「2 食べないときもある」「3 まったく食べない」とお答えの方のみ。

(26) 朝ごはんを食べない理由について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

朝ごはんを食べない理由について、「食べる時間がない」が41.0%と最も高くなっています。ついで、「子どもの食欲がない」が35.9%、「他の家族も食べない」と「食事の準備ができていない」がともに5.8%となっています。

【全体（図）】

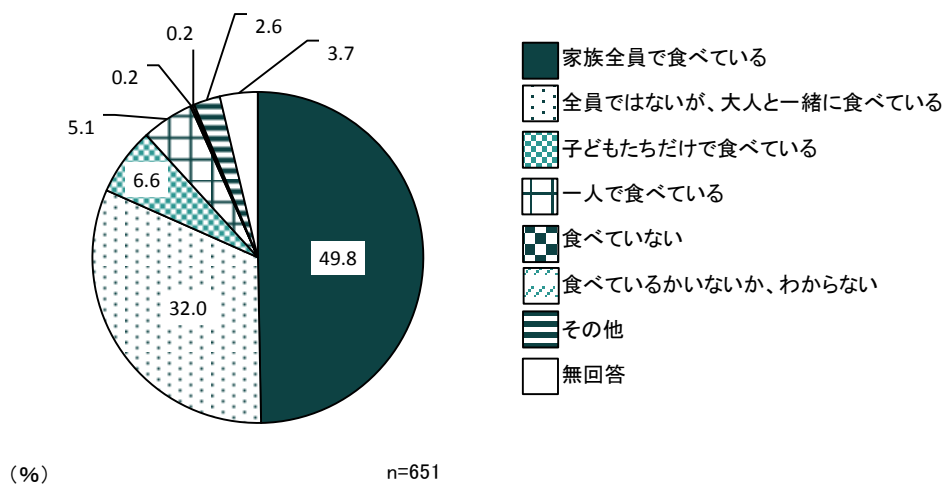


(27) お子さんは晩ごはんを主に誰と食べていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

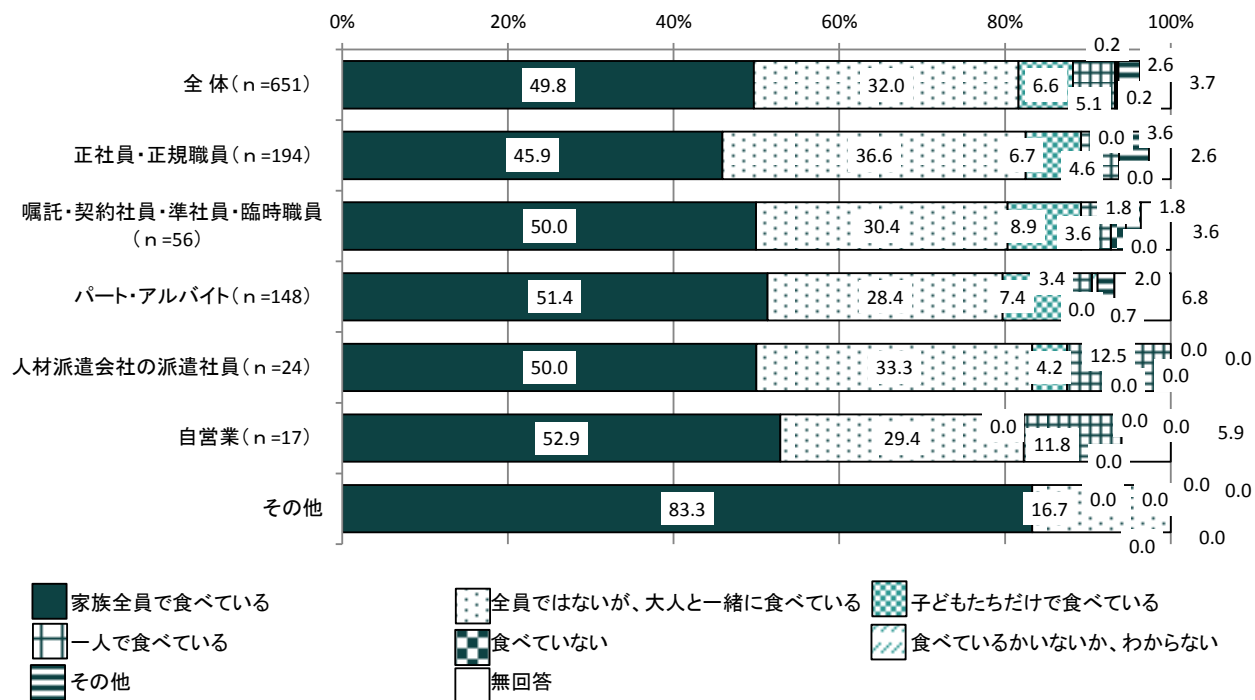
お子さんが晩ごはんを誰と食べているかについて、「家族全員で食べている」が49.8%と最も高くなっています。ついで、「全員ではないが、大人と一緒に食べている」が32.0%、「子どもたちだけで食べている」が6.6%となっています。

就業形態別にみると、『正社員・正規職員』は、他の就業形態と比べると、「家族全員で食べている」が低くなっています。

【全体（図）】



【就業形態別（図）】

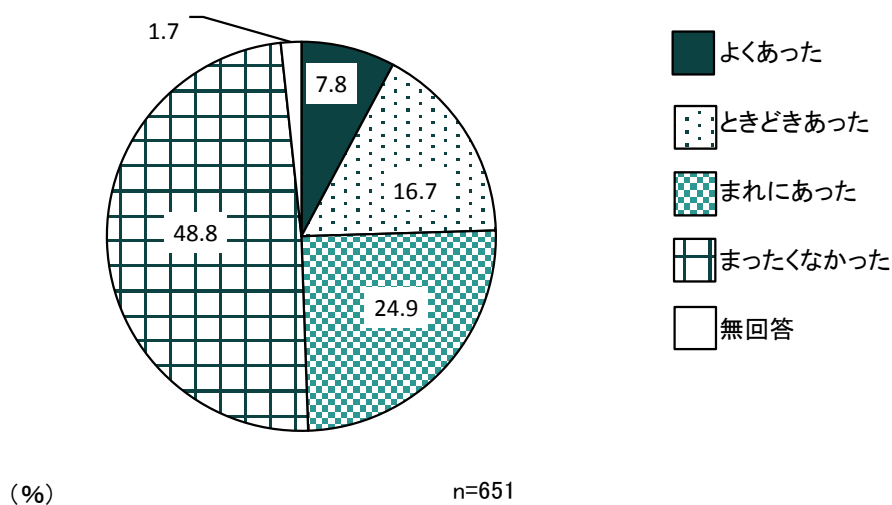


(28) あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由でお子さんが必要とする文具や教材を買えないことがありましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

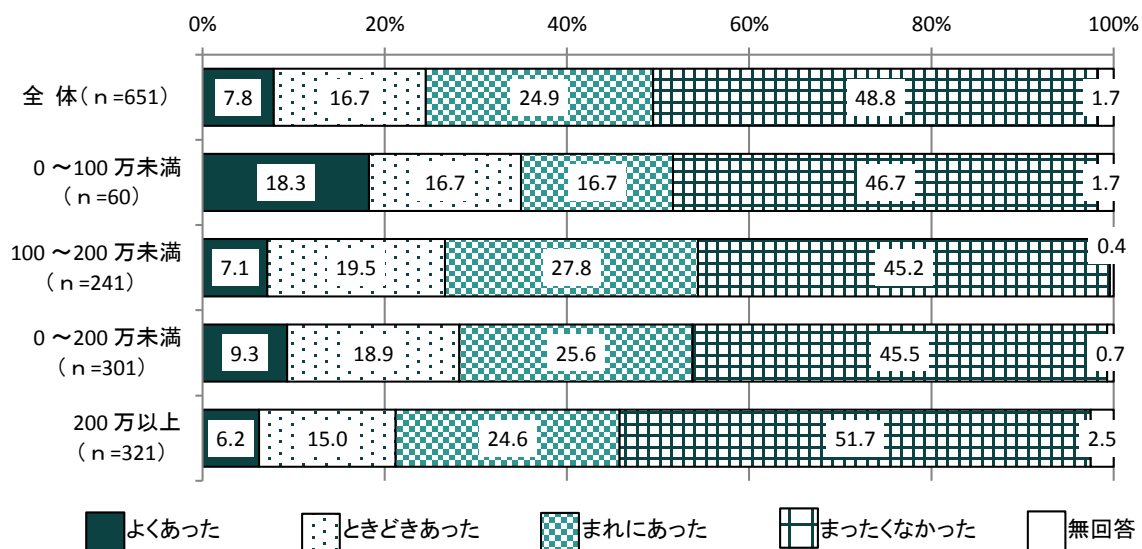
経済的な理由で文具や教材を買えなかったかについて、「まったくなかった」が48.8%と最も高くなっています。ついで、「まれにあった」が24.9%、「ときどきあった」が16.7%となっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「よくあった」が高くなっています。

【全体（図）】



【総収入別（図）】



(29) 小学生以上のお子さんがある方におたずねします。

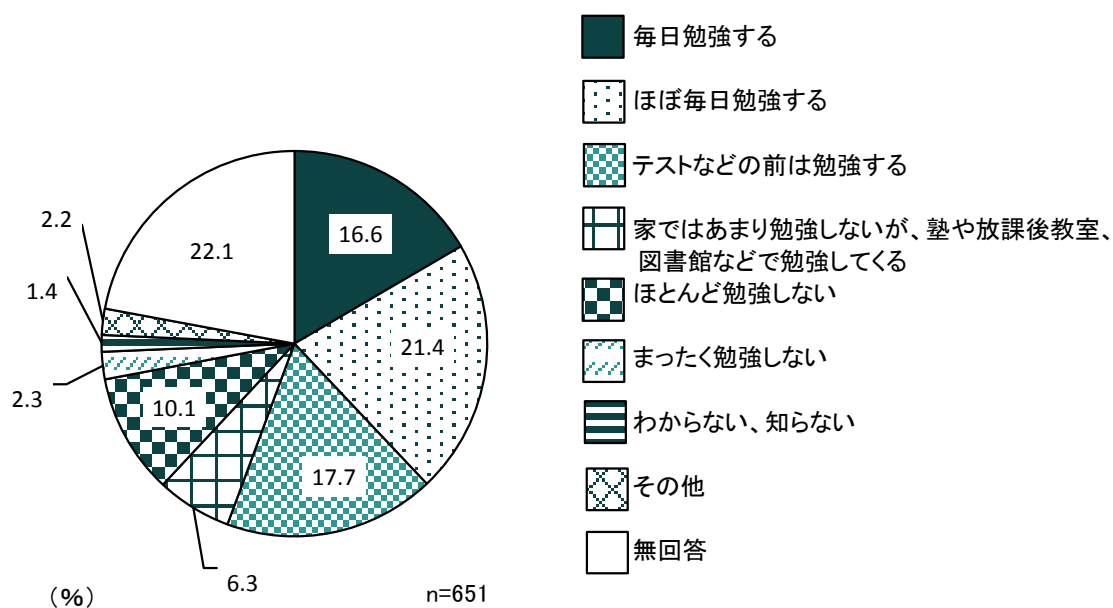
家庭での学習習慣について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

家庭における学習習慣について、「ほぼ毎日勉強する」が21.4%と最も高くなっています。ついで、「テストなどの前は勉強する」が17.7%、「毎日勉強する」が16.6%となっています。

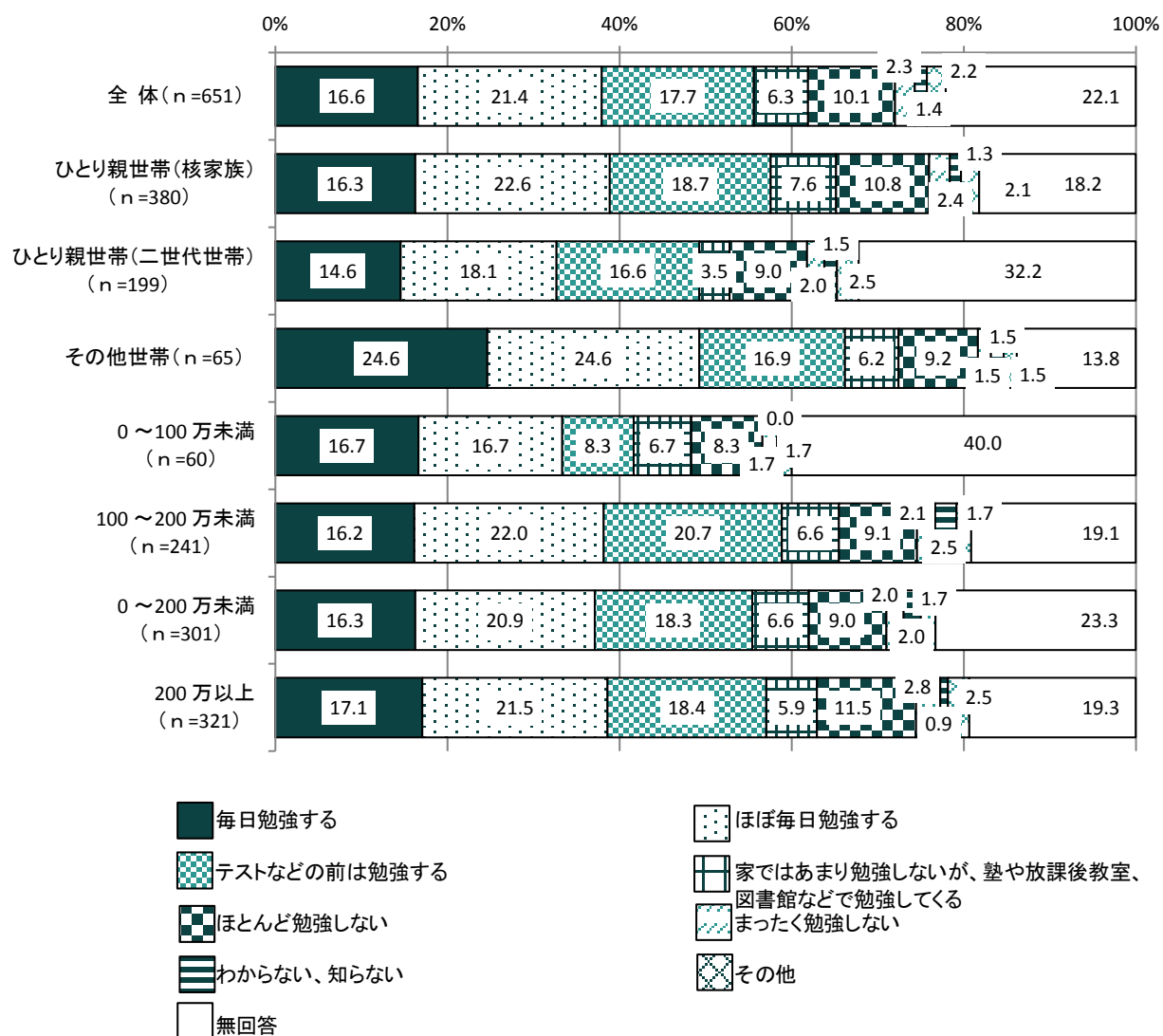
世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』（16.3%）と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』（14.6%）は、『その他世帯』と比べると、「毎日勉強する」が低くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』（8.3%）は、『200万以上』と比べると、「テストなどの前は勉強する」が低くなっています。

【全体（図）】



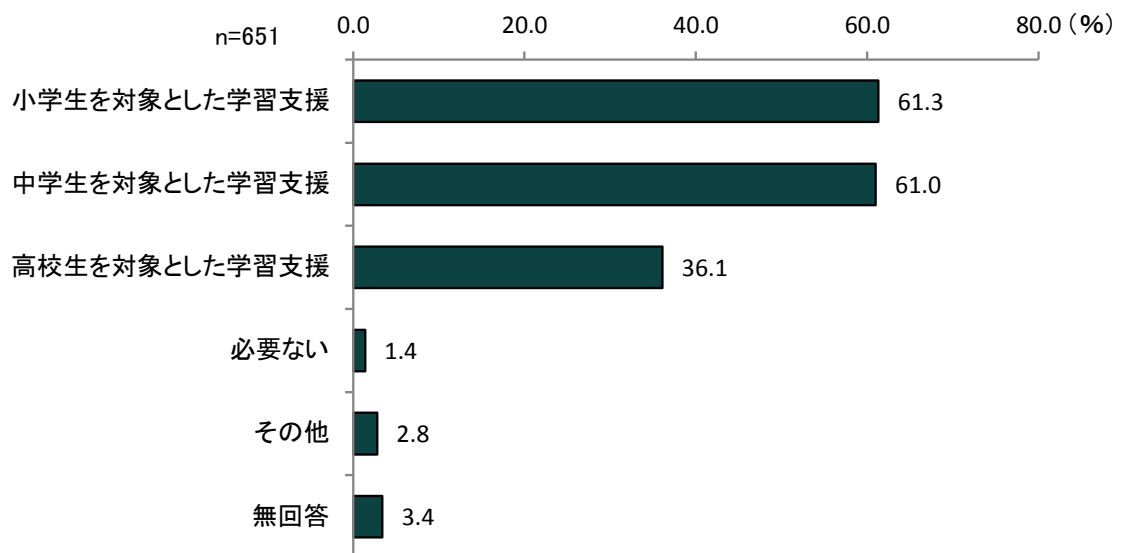
【世帯構成・総収入別（図）】



（３０） 子育て支援施策の一環として、津山市が新たに学習支援事業を行う場合、どの段階での支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

津山市が行う学習支援事業で支援が必要な段階について、「小学生を対象とした学習支援」が61.3%と最も高くなっています。ついで、「中学生を対象とした学習支援」が61.0%、「高校生を対象とした学習支援」が36.1%となっています。

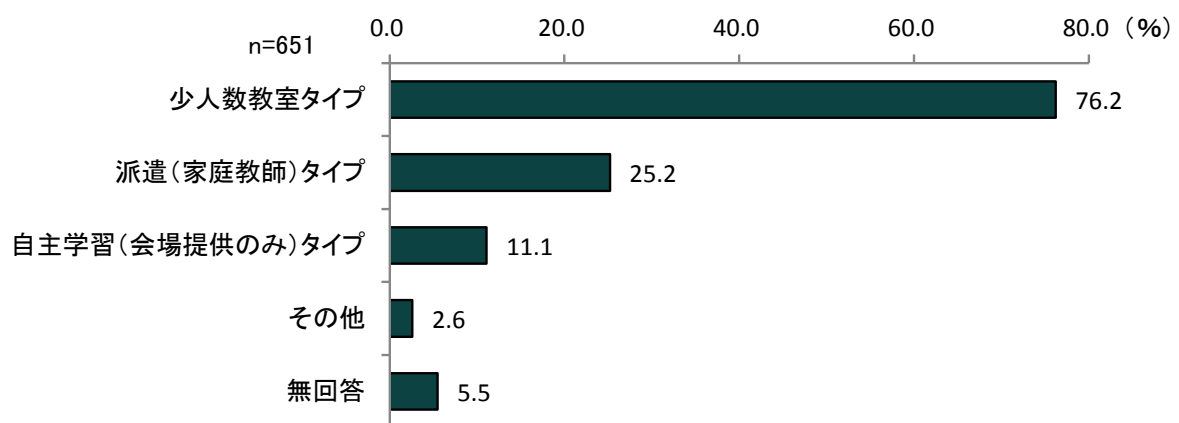
【全体（図）】



（３１） 津山市が新たに学習支援事業を行う場合、どのようなタイプの学習方法を希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

学習支援事業を行う場合の学習方法の希望について、「少人数教室タイプ」が76.2%と最も高くなっています。ついで、「派遣（家庭教師）タイプ」が25.2%、「自主学習（会場提供のみ）タイプ」が11.1%となっています。

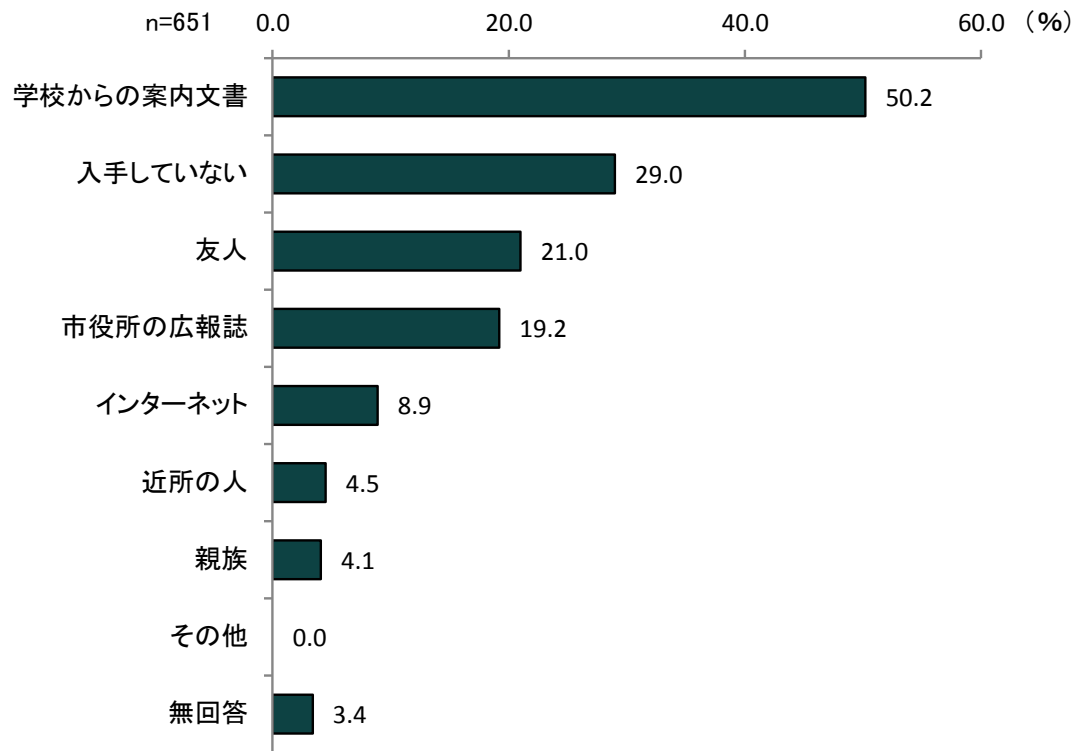
【全体（図）】



（３２） あなたは津山市の行う学習支援施策（就学援助や放課後子ども教室など）に関する情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

津山市の行う学習支援施策の情報の入手方法について、「学校からの案内文書」が50.2%と最も高くなっています。ついで、「入手していない」が29.0%、「友人」が21.0%となっています。

【全体（図）】



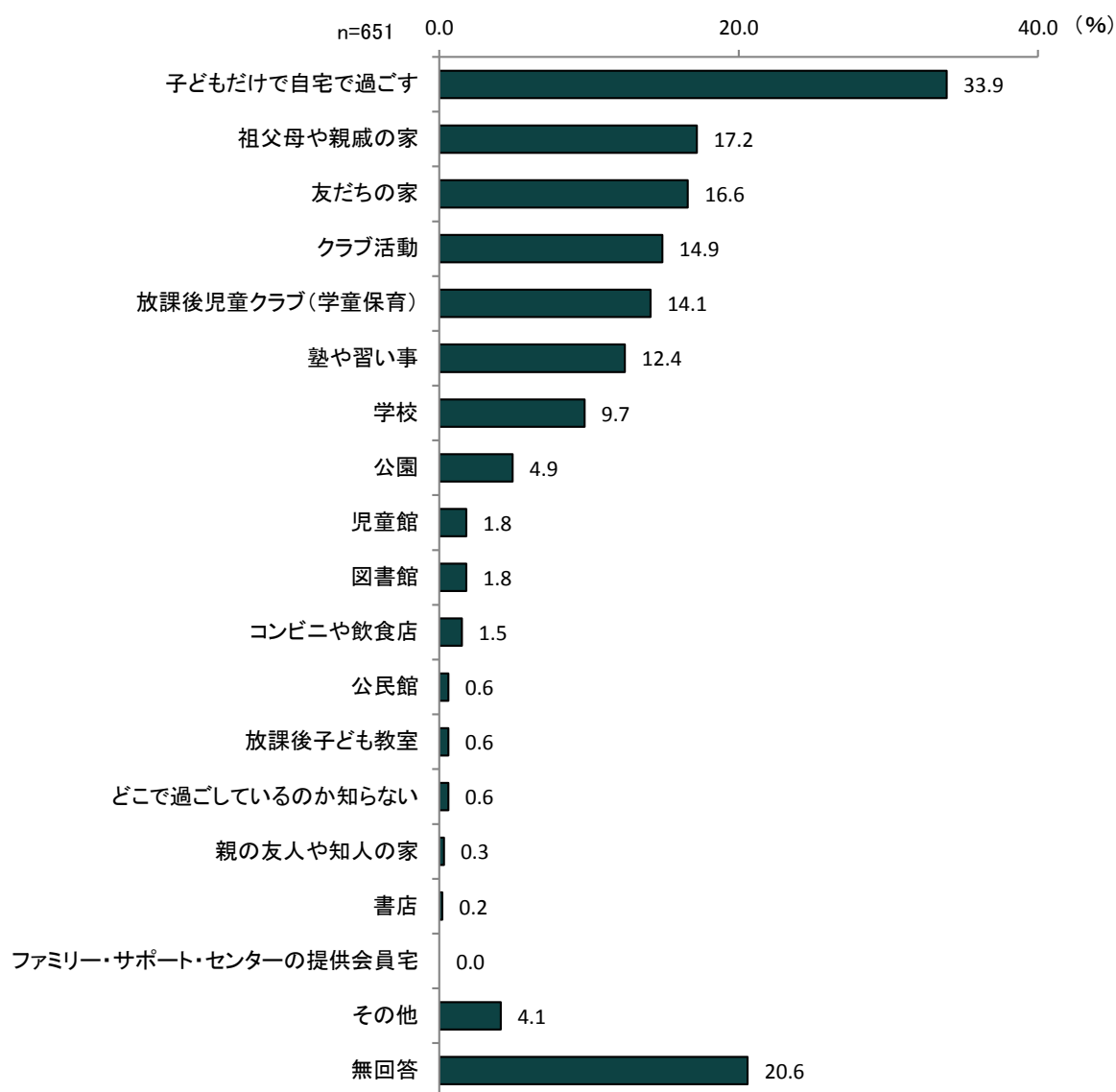
(33) 小学生以上のお子さんがいる方にお聞きします。

放課後、お子さんはどこで過ごしていますか。主なものを3つまで○をつけてください。

放課後にお子さんが過ごしている場所について、「子どもだけで自宅で過ごす」が33.9%と最も高くなっています。ついで、「祖父母や親戚の家」が17.2%、「友だちの家」が16.6%となっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』は、他の世帯と比べると、「子どもだけで自宅で過ごす」、「放課後児童クラブ（学童保育）」が高くなっており、「塾や習い事」が低くなっています。また、『その他世帯』（23.1%）は、他の世帯と比べると、「友だちの家」が高くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成別（表）】

		サ ン プ ル 数 （ n ）	子 ど も だ け で 自 宅 で 過 ご す	祖 父 母 や 親 戚 の 家	友 だ ち の 家	ク ラ ブ 活 動	放 課 後 児 童 ク ラ ブ （ 学 童 保 育 ）	塾 や 習 い 事	学 校	公 園	児 童 館	図 書 館
世 帯 構 成	ひとり親世帯 （核家族）	380	42.4	17.1	16.8	15.0	16.8	9.5	9.5	5.3	2.1	2.6
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	18.6	17.6	14.6	14.1	10.1	16.1	10.1	3.0	1.5	1.0
	その他世帯	65	32.3	16.9	23.1	16.9	10.8	18.5	9.2	9.2	1.5	0.0
		サ ン プ ル 数 （ n ）	コ ン ビ ニ や 飲 食 店	公 民 館	放 課 後 子 ど も 教 室	ど こ か で 過 ご し て い る の か 知 ら な い い	家 親 の 友 人 や 知 人 の	書 店	ポ ー ト ・ セ ン タ ー の 提 供 会 員 宅	フ ア ミ リ ー ・ サ ー の 提 供 会 員 宅	そ の 他	無 回 答
世 帯 構 成	ひとり親世帯 （核家族）	380	1.8	0.8	0.3	0.5	0.3	0.0	0.0	2.1	16.6	
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	1.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	7.0	30.7	
	その他世帯	65	0.0	0.0	4.6	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7	12.3	

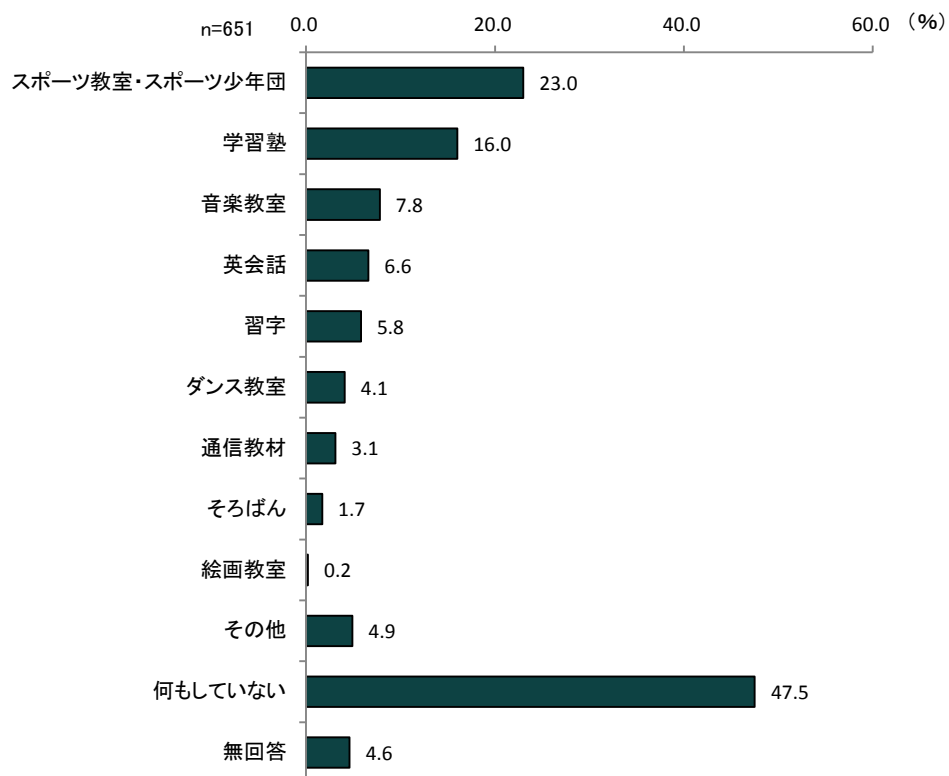
(34) お子さんは、現在、塾や習い事をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

お子さんがしている塾や習い事について、全体でみると、「何もしていない」が47.5%と最も高くなっていますが、している内容別にみると、「スポーツ教室・スポーツ少年団」が23.0%と最も高くなっています。ついで、「学習塾」が16.0%、「音楽教室」が7.8%となっています。

世帯構成別にみると、『その他世帯』は、他の世帯と比べると、「スポーツ教室・スポーツ少年団」、「学習塾」が高くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、お子さんがしている塾や習い事の項目すべてで、低くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成・総収入別（表）】

		サンプル数 (n)	スポーツ少年団・	学習塾	音楽教室	英会話	習字	ダンス教室	通信教材	そろばん	絵画教室	その他	何もしていない	無回答
世帯構成	ひとり親世帯 (核家族)	380	20.3	15.3	7.9	6.6	5.0	5.3	3.4	1.3	0.0	5.8	49.7	3.7
	ひとり親世帯 (二世帯世帯)	199	23.6	14.6	7.0	7.0	5.0	2.5	2.5	2.0	0.5	4.5	45.2	6.5
	その他世帯	65	38.5	24.6	9.2	6.2	12.3	3.1	1.5	3.1	0.0	1.5	40.0	3.1
総収入	0～100万未満	60	13.3	8.3	1.7	5.0	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	5.0	58.3	8.3
	100～200万未満	241	18.3	14.9	7.5	5.0	3.7	4.6	2.5	0.8	0.0	6.2	51.0	4.6
	0～200万未満	301	17.3	13.6	6.3	5.0	3.7	3.7	2.0	1.3	0.0	6.0	52.5	5.3
	200万以上	321	27.7	17.4	9.7	8.4	8.1	4.7	4.0	1.9	0.3	4.0	43.0	3.1

（３５） お子さんの進路（最終学歴等）について、現時点での親としてのあなたの希望をお聞かせください。あてはまるもの１つに○をつけてください。

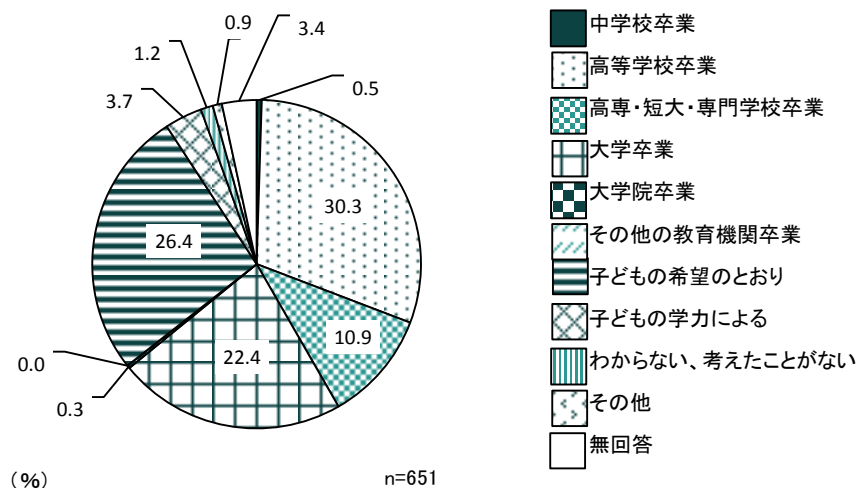
あなたが希望するお子さんの最終学歴について、「高等学校卒業」が 30.3%と最も高くなっています。ついで、「子どもの希望のとおり」が 26.4%、「大学卒業」が 22.4%となっています。

子どもの人数別にみると、『１人』から『５人』にかけて子どもの人数が増えるにつれて、「高等学校卒業」が高くなっています。また、『５人』は、他の人数と比べると、「大学卒業」、「子どもの希望のとおり」が低くなっており、「子どもの学力による」が高くなっています。

世帯構成別にみると、『その他世帯』は、他の世帯と比べると、「高等学校卒業」が高くなっており、「子どもの希望のとおり」が低くなっています。

総収入別にみると、『０～100 万未満』は、『200 万以上』と比べると、「高専・短大・専門学校卒業」、「大学卒業」が低くなっており、「子どもの希望のとおり」が高くなっています。

【全体（図）】



【子どもの人数・世帯構成・総収入別（表）】

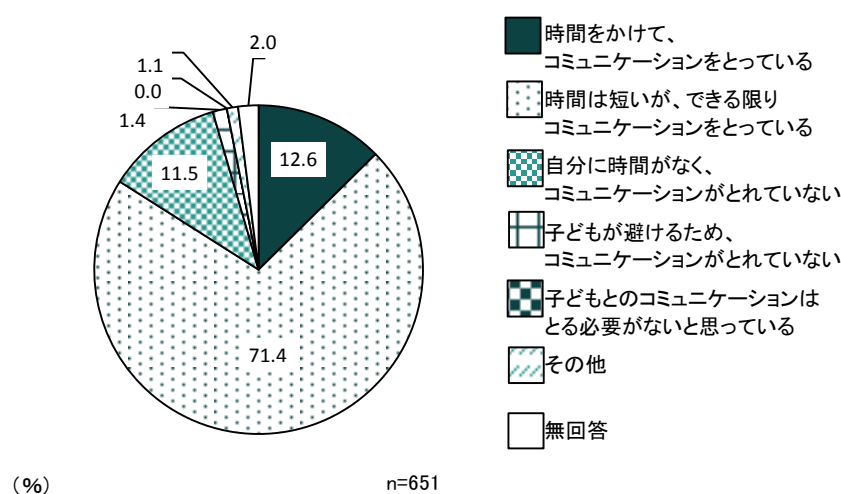
		サン プル 数 (n)	中 学 校 卒 業	高 等 学 校 卒 業	専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 高 専	大 学 卒 業	大 学 院 卒 業	卒 業 の 他 の 教 育 機 関	お り 子 ど も の 希 望 の と	る 子 ど も の 学 力 に よ	わ か ら な い 、 考 え た こ と が な い	そ の 他	無 回 答
子 ど も の 人 数	1 人	225	0.0	23.6	8.9	27.1	0.9	0.0	29.8	4.0	1.3	0.4	4.0
	2 人	258	0.8	31.8	12.0	20.5	0.0	0.0	24.0	4.7	1.9	1.2	3.1
	3 人	112	0.0	33.9	11.6	23.2	0.0	0.0	25.9	0.9	0.0	0.9	3.6
	4 人	34	2.9	38.2	14.7	11.8	0.0	0.0	29.4	0.0	0.0	0.0	2.9
	5 人	17	0.0	64.7	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0
世 帯 構 成	ひとり親世帯 (核家族)	380	0.5	30.0	12.4	20.8	0.3	0.0	27.4	4.2	1.1	1.1	2.4
	ひとり親世帯 (二世帯世帯)	199	0.0	28.6	8.0	24.6	0.5	0.0	26.6	4.0	2.0	1.0	4.5
	その他世帯	65	1.5	40.0	10.8	23.1	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	4.6
総 収 入	0 ～100 万未満	60	1.7	28.3	6.7	18.3	1.7	0.0	33.3	0.0	1.7	1.7	6.7
	100 ～200 万未満	241	0.8	32.8	11.2	22.4	0.0	0.0	24.5	4.6	0.8	0.0	2.9
	0 ～200 万未満	301	1.0	31.9	10.3	21.6	0.3	0.0	26.2	3.7	1.0	0.3	3.7
	200 万以上	321	0.0	29.6	11.8	22.4	0.3	0.0	27.1	3.7	1.2	0.9	2.8

（36） お子さんとの関わりのなかで、日々のコミュニケーションはとれていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

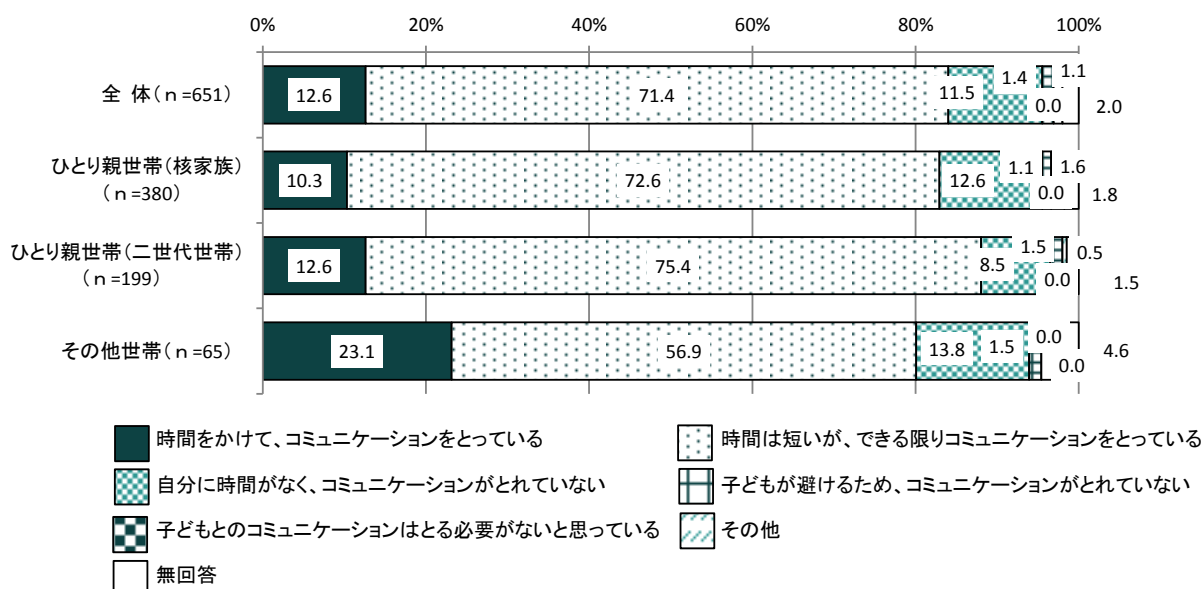
お子さんとのコミュニケーションについて、「時間は短いが、できる限りコミュニケーションをとっている」が71.4%と最も高くなっています。ついで、「時間をかけて、コミュニケーションをとっている」が12.6%、「自分に時間がなく、コミュニケーションがとれていない」が11.5%となっています。

世帯構成別にみると、『その他世帯』は、他の世帯と比べると、「時間をかけて、コミュニケーションをとっている」が高くなっており、「時間は短いが、できる限りコミュニケーションをとっている」が低くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成別（図）】

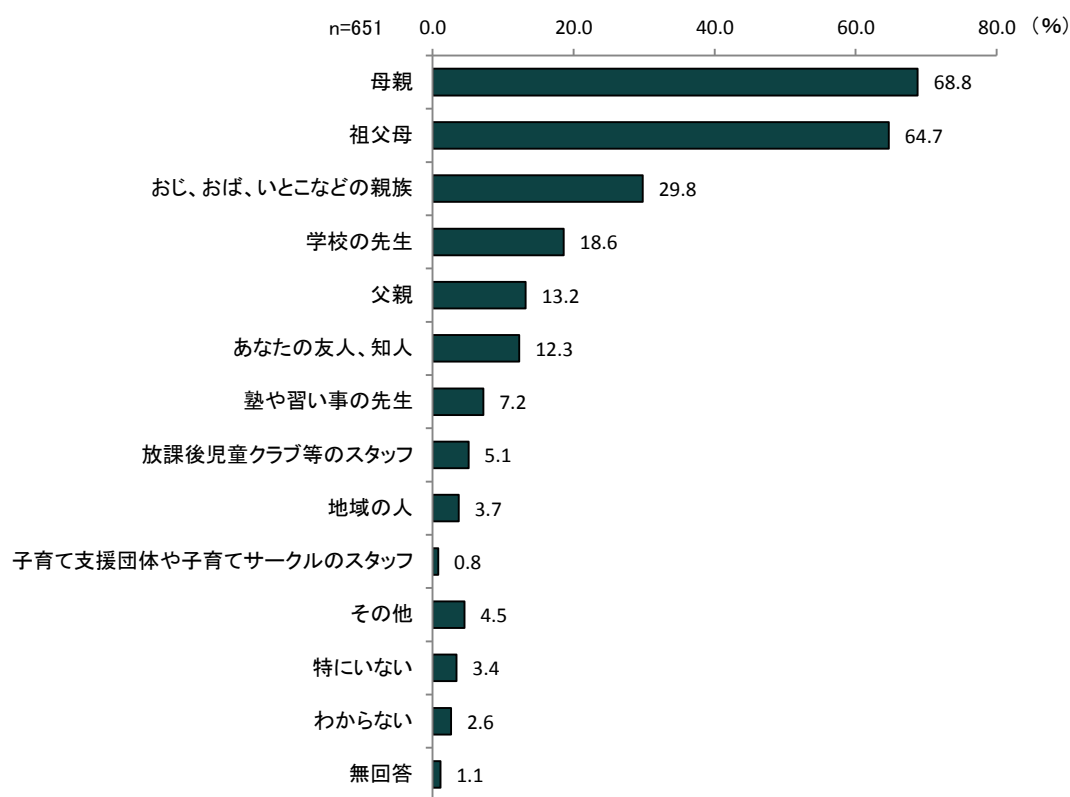


（３７） あなたから見て、お子さんが頼りにしていると思われる大人がいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

お子さんが頼りにしている大人について、「母親」が68.8%と最も高くなっています。ついで、「祖父母」が64.7%、「おじ、おば、いとこなどの親族」が29.8%となっています。

世帯構成別にみると、『その他世帯』は、他の世帯と比べると、「母親」と「父親」が高くなっており、『ひとり親世帯（二世帯世帯）』は、他の世帯と比べると、「祖父母」、「おじ、おば、いとこなどの親族」が高くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成別（表）】

		サンプル数（n）	母親	祖父母	おじ、おば、いとこなどの親族	学校の先生	父親	あなたの友人、知人	塾や習い事の先生	放課後児童クラブ等のスタッフ	地域の人	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	その他	特にいない	わからない	無回答
世帯構成	ひとり親世帯（核家族）	380	68.2	58.2	27.6	20.0	8.9	14.5	5.0	7.1	3.2	0.5	3.2	4.7	3.7	0.8
	ひとり親世帯（二世帯世帯）	199	65.8	77.4	35.2	14.6	9.5	9.5	10.1	0.5	3.5	0.5	6.5	1.0	1.5	1.5
	その他世帯	65	84.6	63.1	24.6	23.1	50.8	9.2	12.3	7.7	7.7	3.1	4.6	3.1	0.0	1.5

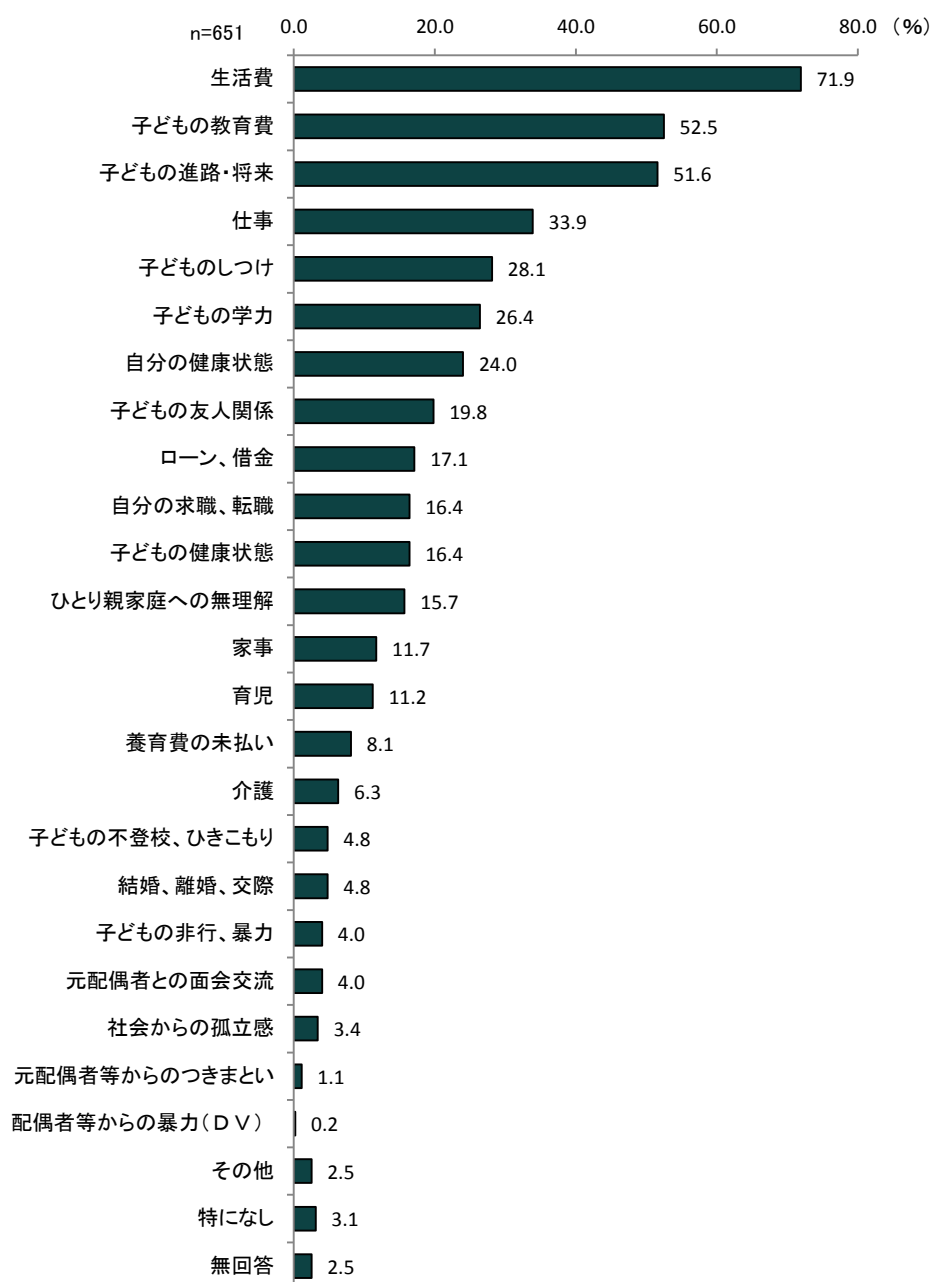
（３８） お子さんのことやあなた自身のことでの悩みごとがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

お子さんや自身の悩みごとについて、「生活費」が71.9%と最も高くなっています。ついで、「子どもの教育費」が52.5%、「子どもの進路・将来」が51.6%となっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（二世帯世帯）』は、他の世帯と比べると、「生活費」が低くなっており、『ひとり親世帯（核家族）』と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』は、『その他世帯』と比べると、「仕事」、「自分の求職、転職」、「ひとり親家庭への無理解」が高くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「子どもの進路・将来」、「子どもの学力」が低くなっており、「自分の健康状態」、「自分の求職、転職」が高くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成・総収入別（表）】

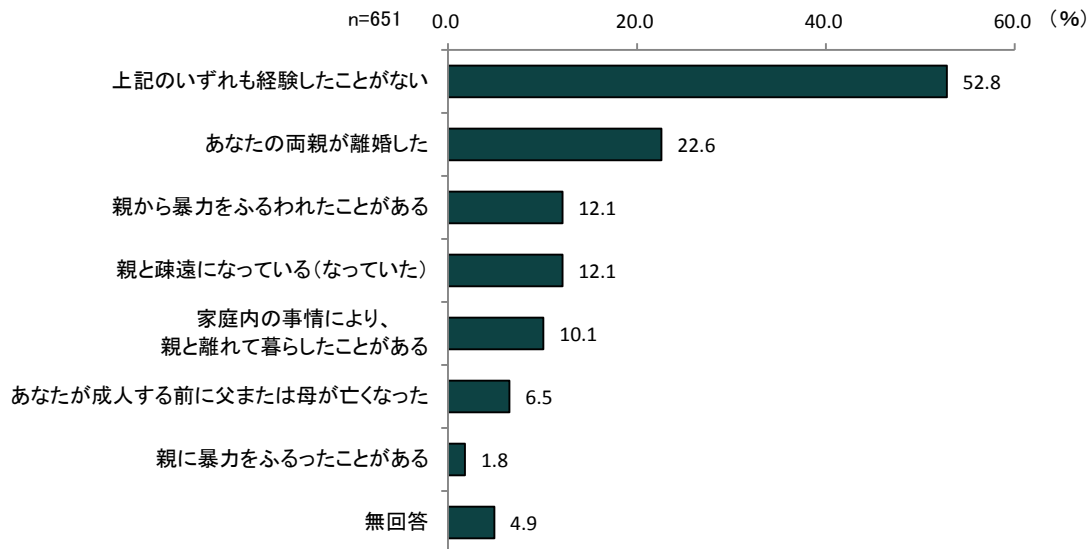
		サ ン プ ル 数 （ n ）	生 活 費	子 ど も の 教 育 費	将 来 子 ど も の 進 路 ・	仕 事	子 ど も の し つ け	子 ど も の 学 力	自 分 の 健 康 状 態	子 ど も の 友 人 関 係	ロ ー ン、 借 金	自 分 の 求 職、 転 職	子 ど も の 健 康 状 態	無 理 解 ひ と り 親 家 庭 へ の	家 事
世 帯 構 成	ひとり親世帯 （核家族）	380	76.8	55.5	52.4	37.4	27.6	26.3	27.4	19.7	20.3	18.2	17.1	17.9	12.9
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	61.3	49.7	50.3	32.7	27.1	23.6	18.1	18.1	10.6	16.1	13.1	15.6	10.6
	その他世帯	65	76.9	46.2	49.2	21.5	32.3	36.9	23.1	24.6	20.0	6.2	21.5	0.0	9.2
総 収 入	0～100 万未満	60	73.3	48.3	41.7	31.7	38.3	15.0	31.7	16.7	11.7	28.3	16.7	13.3	15.0
	100～200 万未満	241	77.6	51.9	52.7	37.8	25.7	27.8	28.6	17.8	18.7	19.1	16.6	19.9	10.4
	0～200 万未満	301	76.7	51.2	50.5	36.5	28.2	25.2	29.2	17.6	17.3	20.9	16.6	18.6	11.3
	200 万以上	321	68.5	55.5	56.1	31.2	29.3	29.3	20.6	23.1	17.4	11.5	17.1	13.1	11.8
		サ ン プ ル 数 （ n ）	育 児	養 育 費 の 未 払 い	介 護	ひ 子 ど も の 不 登 校、	結 婚、 離 婚、 交 際	暴 子 ど も の 非 行、	交 元 配 偶 者 と の 面 会	社 会 か ら の 孤 立 感	つ 元 配 偶 者 等 か ら の	暴 配 偶 者 等 か ら の （ D V ）	そ の 他	特 に な し	無 回 答
世 帯 構 成	ひとり親世帯 （核家族）	380	12.6	8.7	4.7	5.0	6.1	4.5	3.9	4.2	1.1	0.3	3.2	1.8	1.8
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	10.1	9.5	9.0	3.0	2.0	2.5	4.5	2.5	1.0	0.0	2.0	5.5	4.0
	その他世帯	65	4.6	1.5	7.7	9.2	4.6	4.6	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5
総 収 入	0～100 万未満	60	13.3	10.0	10.0	5.0	5.0	11.7	8.3	8.3	1.7	0.0	6.7	6.7	1.7
	100～200 万未満	241	10.4	7.5	5.0	4.1	4.1	3.3	4.1	2.9	0.8	0.0	0.8	1.2	2.1
	0～200 万未満	301	11.0	8.0	6.0	4.3	4.3	5.0	5.0	4.0	1.0	0.0	2.0	2.3	2.0
	200 万以上	321	11.2	8.7	6.9	5.3	5.6	3.1	3.1	3.1	1.2	0.3	3.1	3.4	2.2

(39) あなた自身が、これまで次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

あなた自身がこれまで経験したことについて、「上記のいずれも経験したことがない」が 52.8%と最も高くなっています。ついで、「あなたの両親が離婚した」が 22.6%、「親から暴力をふるわれたことがある」が 12.1%となっています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯（核家族）』（23.2%）と『ひとり親世帯（二世帯世帯）』（23.1%）は、『その他世帯』と比べると、「あなたの両親が離婚した」が高くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成別（表）】

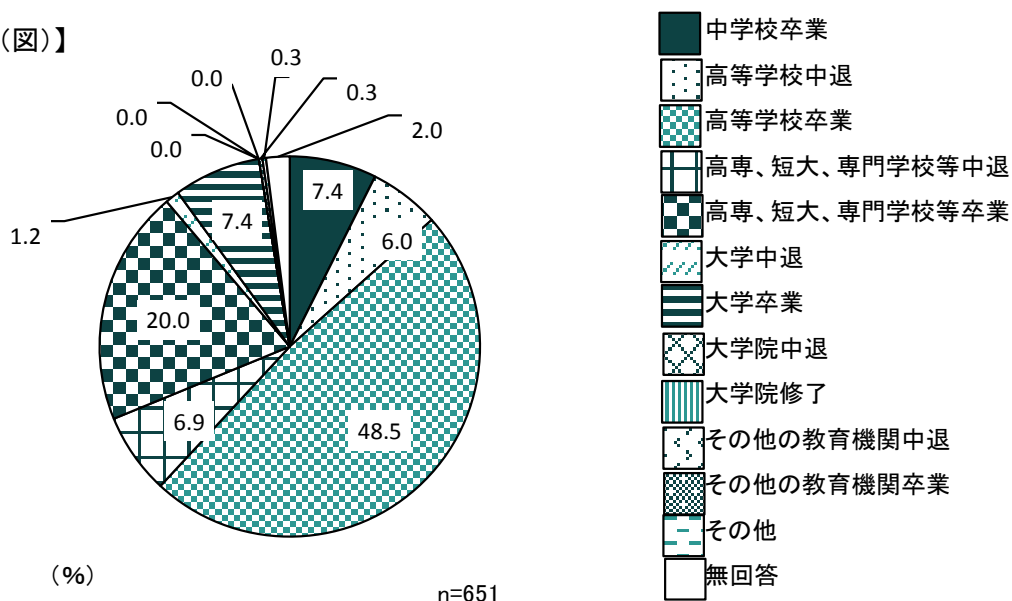
		サンプル数 (n)	上記の いずれも 経験した ことが ない	あなたの 両親が 離婚した	親から 暴力を ふる われた	親と 疎遠に な つて い る	家庭内 の事情 により 親と 離れて 暮ら した	あなたが 成人す る前に 父または 母が 亡くなった	親に 暴力を ふる った	無 回 答
世帯構成	ひとり親世帯 (核家族)	380	50.5	23.2	13.2	15.8	12.6	6.8	1.8	4.7
	ひとり親世帯 (二世帯世帯)	199	57.3	23.1	10.1	6.0	5.0	6.0	2.0	4.5
	その他世帯	65	52.3	16.9	13.8	9.2	10.8	6.2	1.5	7.7

（４０） あなたの最終学歴は次のどれですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

あなた自身の最終学歴について、「高等学校卒業」が48.5%と最も高くなっています。ついで、「高専、短大、専門学校等卒業」が20.0%、「中学校卒業」と「大学卒業」がともに7.4%となっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「中学校卒業」、「高等学校中退」が高くなっており、「高等学校卒業」、「高専、短大、専門学校等卒業」、「大学卒業」が低くなっています。

【全体（図）】



【総収入別（表）】

		サンプル数（n）	中学校卒業	高等学校中退	高等学校卒業	高専、短大、専門学校等中退	高専、短大、専門学校等卒業	大学中退	大学卒業	大学院中退	大学院修了	その他の教育機関中退	その他の教育機関卒業	その他	無回答
総収入	0～100万未満	60	16.7	18.3	40.0	8.3	10.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	3.3
	100～200万未満	241	6.2	7.9	51.5	6.6	19.5	0.8	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.7
	0～200万未満	301	8.3	10.0	49.2	7.0	17.6	0.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	2.0
	200万以上	321	6.5	1.9	49.2	7.2	22.4	1.2	9.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.6

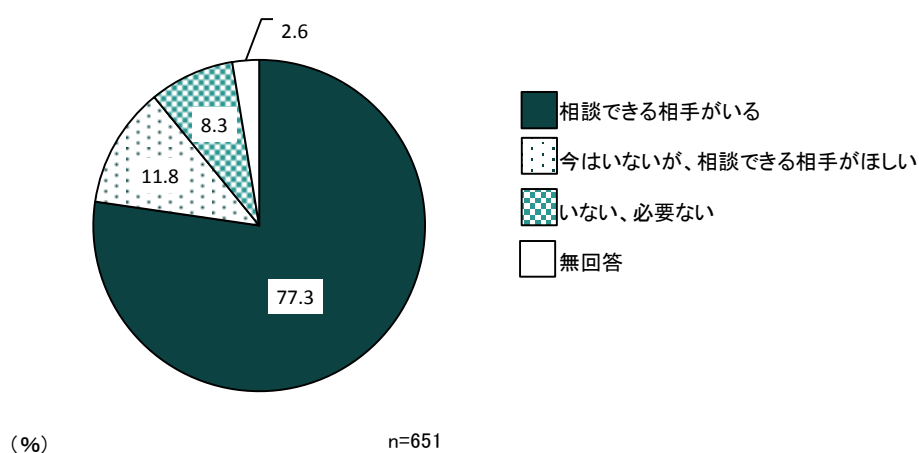
(41) あなた自身、悩みごとなどを相談できる相手がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

あなたが悩みごとを相談する相手がいるかについて、「相談できる相手がいる」が77.3%と最も高くなっています。ついで、「今はいないが、相談できる相手がほしい」が11.8%、「いない、必要ない」が8.3%となっています。

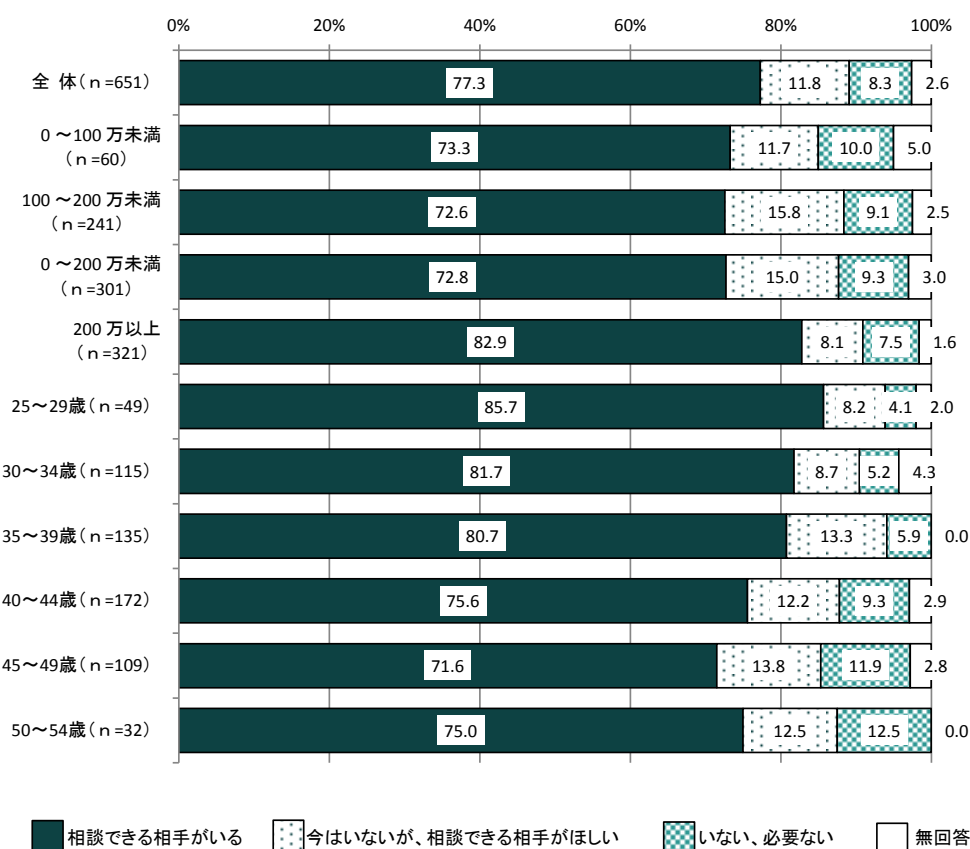
総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「相談できる相手がいる」が低くなっています。

回答者の年齢別にみると、『25～29歳』から『45～49歳』にかけて回答者の年齢が上がるにつれて、「相談できる相手がいる」が低くなっています。

【全体（図）】



【総収入・回答者の年齢別（図）】



(41)で「1 相談できる相手がいる」「2 今はいないが、相談できる相手がほしい」とお答えの方のみ。

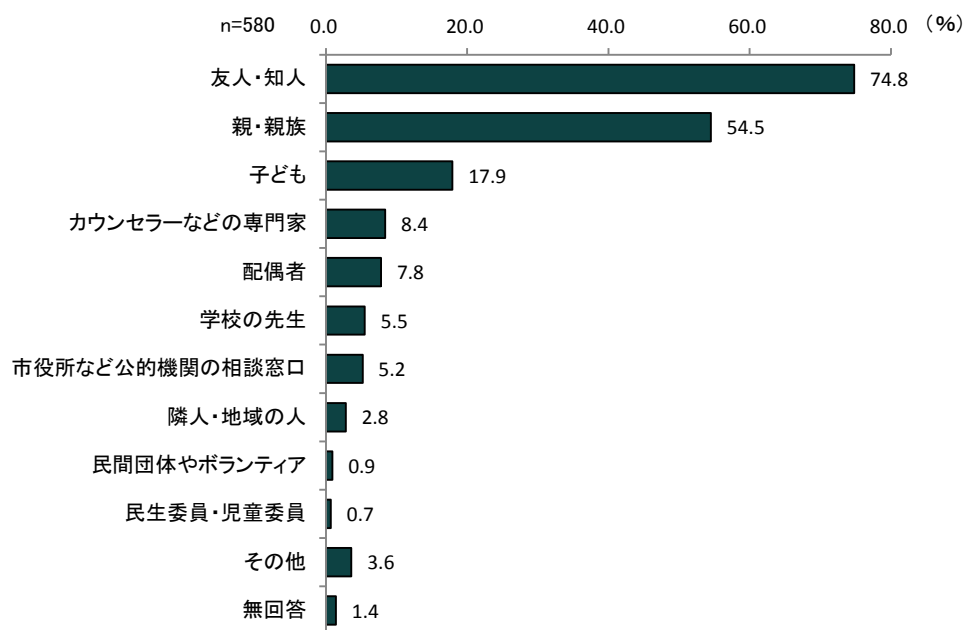
(42) その相手は誰ですか。また、相談できる相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

あなた自身の相談相手について、「友人・知人」が74.8%と最も高くなっています。ついで、「親・親族」が54.5%、「子ども」が17.9%となっています。

相談相手の有無別にみると、『相談できる相手がいる』と答えた方は、「友人・知人」、「親・親族」が高くなっています。また、『今はいないが、相談できる相手がほしい』と答えた方は、「友人・知人」、「カウンセラーなどの専門家」、「市役所など公的機関の相談窓口」を相談相手としてあげています。

世帯構成別にみると、『ひとり親世帯(核家族)』(77.9%)と『ひとり親世帯(二世帯世帯)』(77.7%)は、『その他世帯』と比べると、「友人・知人」が高くなっており、『その他世帯』(62.5%)は、他の世帯と比べると、「配偶者」が高くなっています。

【全体(図)】



【相談相手の有無・世帯構成別(表)】

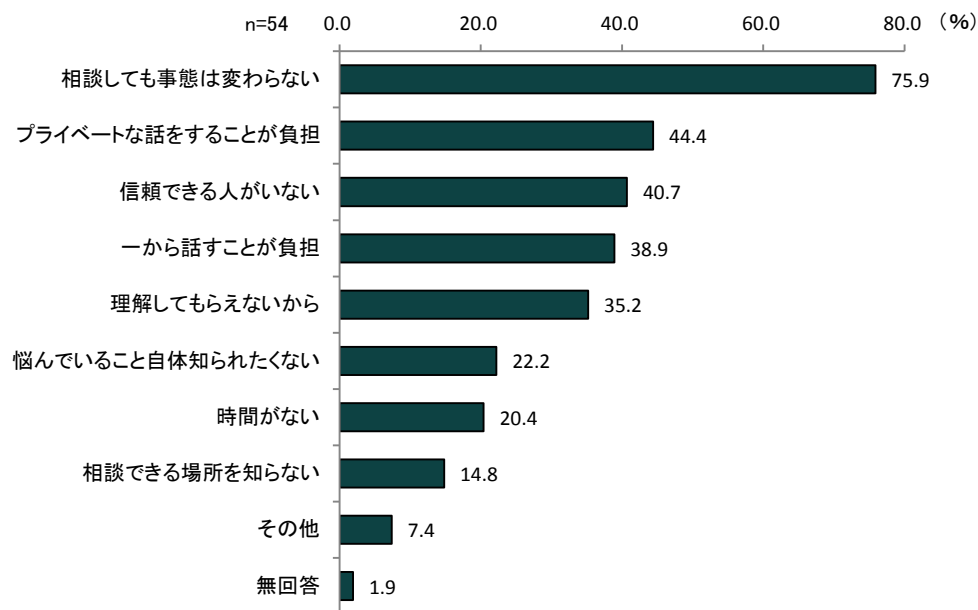
		サンプル数(n)	友人・知人	親・親族	子ども	カウンセラーなどの専門家	配偶者	学校の先生	市役所など公的機関の相談窓口	隣人・地域の人	民間団体やボランティア	民生委員・児童委員	その他	無回答
相談相手の有無	相談できる相手がいる	503	80.7	61.2	19.9	4.0	7.6	5.8	2.6	3.0	0.2	0.4	2.4	0.6
	今はいないが、相談できる相手がほしい	77	36.4	10.4	5.2	37.7	9.1	3.9	22.1	1.3	5.2	2.6	11.7	6.5
世帯構成	ひとり親世帯(核家族)	344	77.9	50.9	20.9	8.1	2.3	6.1	5.5	2.3	0.9	0.6	4.1	1.5
	ひとり親世帯(二世帯世帯)	175	77.7	60.0	11.4	8.0	1.1	2.9	4.6	2.9	0.6	0.0	4.0	1.1
	その他世帯	56	51.8	57.1	17.9	10.7	62.5	10.7	3.6	5.4	1.8	3.6	0.0	1.8

(41)で「3 いない、必要ない」とお答えの方のみ。

(43) その理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

相談相手がいない、必要ないという理由について、「相談しても事態は変わらない」が75.9%と最も高くなっています。ついで、「プライベートな話をすることが負担」が44.4%、「信頼できる人がいない」が40.7%となっています。

【全体（図）】



7 必要な支援等について

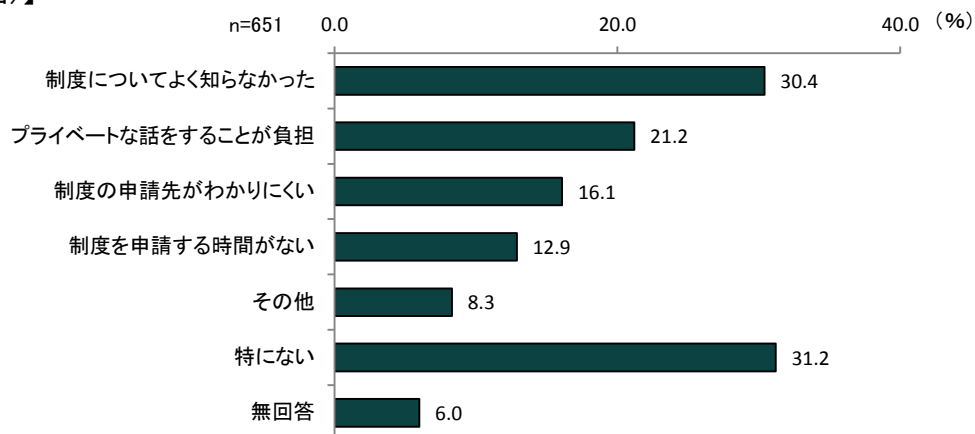
（４４） あなたが津山市の支援制度（手当や就学援助など）を受けるうえで、抵抗を感じた（または感じる）ことはどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

支援制度を受けるうえで抵抗を感じていることについて、「制度についてよく知らなかった」が30.4%と最も高くなっています。ついで、「プライベートな話をすることが負担」が21.2%、「制度の申請先がわかりにくい」が16.1%となっています。

回答者の年齢別にみると、『25～29歳』は、他の年齢と比べると、「制度についてよく知らなかった」、「制度の申請先がわかりにくい」が高くなっています。

回答者別にみると、『父親』は、『母親』と比べると、「制度についてよく知らなかった」が高くなっており、「プライベートな話をすることが負担」が低くなっています。

【全体（図）】



【回答者の年齢・回答者別（表）】

		サンプル数 (n)	制度についてよく知らなかった (%)	プライベートな話をすることが負担 (%)	制度の申請先がわかりにくい (%)	制度を申請する時間がない (%)	その他 (%)	特にない (%)	無回答 (%)
回答者の年齢	25～29歳	49	46.9	18.4	28.6	18.4	14.3	20.4	4.1
	30～34歳	115	31.3	20.9	18.3	21.7	6.1	27.8	5.2
	35～39歳	135	33.3	18.5	14.1	10.4	7.4	30.4	8.1
	40～44歳	172	28.5	22.1	16.9	9.9	8.7	33.7	7.0
	45～49歳	109	23.9	21.1	11.0	10.1	8.3	40.4	1.8
	50～54歳	32	18.8	25.0	6.3	9.4	6.3	31.3	12.5
回答者	父親	63	38.1	11.1	11.1	17.5	7.9	31.7	9.5
	母親	577	29.8	22.4	16.6	12.7	8.3	30.8	5.7

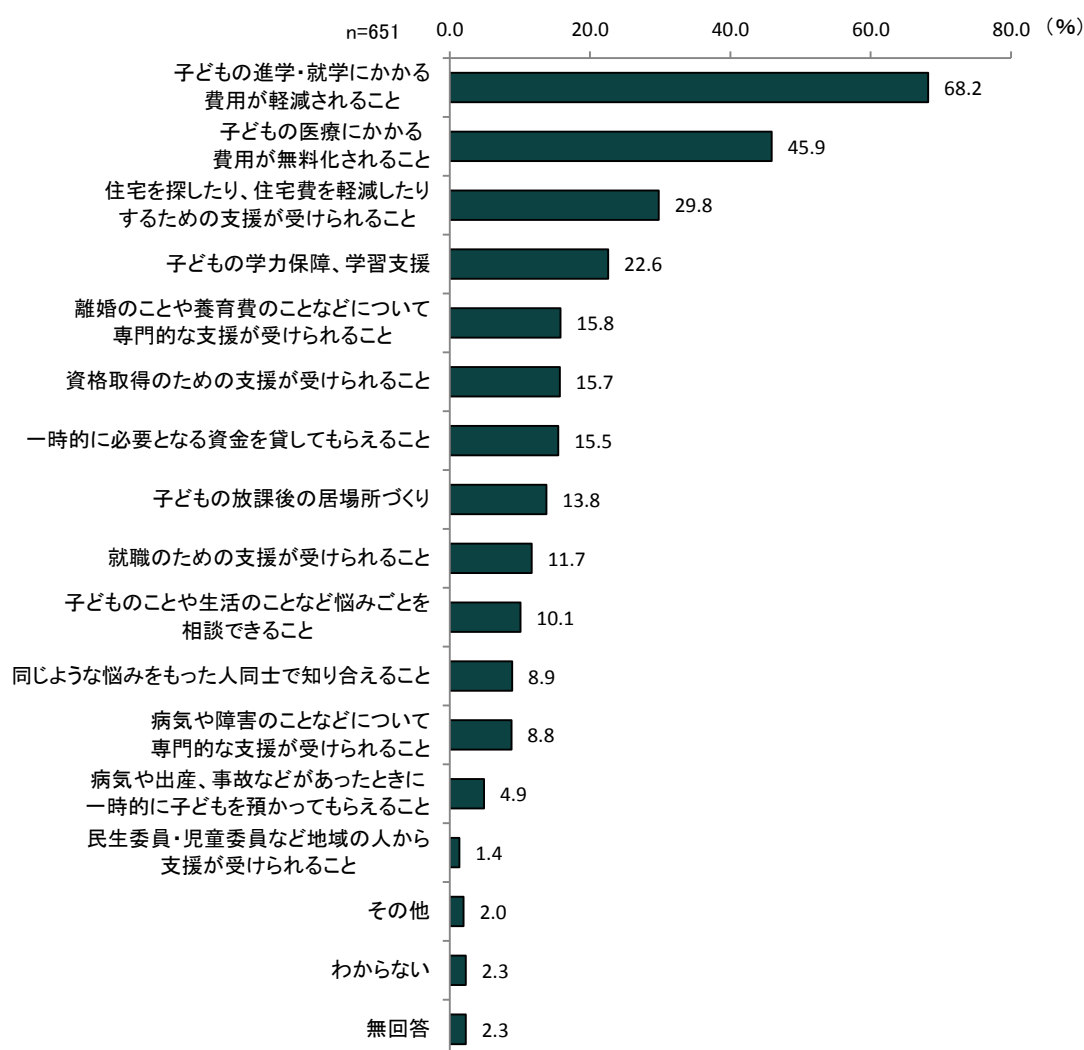
(45) あなたが現在必要としている支援、または、重要だと思う支援等はどうなものですか。主なものに3つまで○をしてください。

現在必要または重要だと思う支援について、「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」が68.2%と最も高くなっています。ついで、「子どもの医療にかかる費用が無料化されること」が45.9%、「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が29.8%となっています。

世帯構成別にみると、『その他世帯』は、他の世帯と比べると、「子どもの医療にかかる費用が無料化されること」、「子どもの学力保障、学習支援」が高くなっており、『ひとり親世帯（核家族）』（38.2%）は、他の世帯と比べると、「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が高くなっています。

総収入別にみると、『0～100万未満』は、『200万以上』と比べると、「子どもの学力保障、学習支援」が低くなっており、「資格取得のための支援が受けられること」、「就職のための支援が受けられること」が高くなっています。

【全体（図）】



【世帯構成・総収入別（表）】

		サ ン プ ル 数 （ n ）	就 職 の た め の 支 援 が 受 け ら れ る こ と	子 ど も の 放 課 後 の 居 場 所 づ く り	一 時 的 に 必 要 と な る こ と	金 を 貸 し て も ら え る こ と	資 格 取 得 の た め の 支 援 が あ る こ と	離 婚 の こ と や 養 育 費 の 支 援 が あ る こ と	子 ど も の 学 力 保 障 、 学 習 支 援	住 宅 を 探 し た り 、 住 宅 費 を 軽 減 し た り す る た め の 支 援 が あ る こ と	子 ど も の 医 療 に か か る 費 用 が 無 料 化 さ れ る こ と	子 ど も の 進 学 ・ 就 学 に か か る 費 用 が 軽 減 さ れ る こ と
世 帯 構 成	ひとり親世帯 （核家族）	380	68.9	40.8	38.2	20.5	15.3	15.5	15.3	14.7	11.3	
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	68.3	49.7	18.1	23.6	19.6	18.1	16.6	11.1	14.6	
	その他世帯	65	64.6	63.1	18.5	30.8	7.7	10.8	13.8	18.5	6.2	
総 収 入	0 ～100 万未満	60	66.7	46.7	23.3	15.0	13.3	23.3	16.7	11.7	23.3	
	100 ～200 万未満	241	65.6	45.6	33.2	22.4	19.5	15.4	17.8	15.8	10.8	
	0 ～200 万未満	301	65.8	45.8	31.2	20.9	18.3	16.9	17.6	15.0	13.3	
	200 万以上	321	72.0	46.4	28.3	24.9	13.4	13.4	13.7	13.1	9.7	
		サ ン プ ル 数 （ n ）	談 話 で き る こ と	子 ど も の こ と や 生 活 の 相 互 性	同 じ よ う な 知 り 合 い を も つ こ と	病 気 や 障 害 の こ と な ど の 支 援 が あ る こ と	に あ つ た と き に 一 時 的 に 支 援 が あ る こ と	受 け 取 ら れ る こ と な ど の 支 援 が あ る こ と	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 が あ る こ と	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
世 帯 構 成	ひとり親世帯 （核家族）	380	8.7	7.6	8.7	5.3	1.1	2.4	2.1	2.4		
	ひとり親世帯 （二世帯世帯）	199	10.1	12.1	8.0	3.5	2.0	1.0	2.5	2.0		
	その他世帯	65	18.5	7.7	12.3	6.2	1.5	3.1	1.5	1.5		
総 収 入	0 ～100 万未満	60	13.3	11.7	13.3	5.0	6.7	5.0	5.0	3.3		
	100 ～200 万未満	241	10.0	7.5	8.3	3.3	0.8	1.2	0.8	2.9		
	0 ～200 万未満	301	10.6	8.3	9.3	3.7	2.0	2.0	1.7	3.0		
	200 万以上	321	10.0	8.4	8.7	5.9	0.9	1.9	2.5	1.6		

**（４６） あなたが、今、悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したい
とと思っていることがあれば教えてください。（自由記述）**

自由記述について、「①ひとり親への支援・手当について」に分類されるものが 27 件と最も高くなっています。ついで、「②生活費の不安について」が 20 件、「③生活費の支援・補助について」が 17 件となっています。

分類	件数
① ひとり親への支援・手当について	27
② 生活費の不安について	20
③ 生活費の支援・補助について	17
④ 子供の将来の不安について	15
⑤ 生活・将来の不安について	14
⑥ 相談窓口について	10
⑦ ひとり親への理解について	7
⑧ 元配偶者について	7
⑨ 子供の人間関係について	7
⑩ 教育委員会・ＰＴＡ・学校について	5
⑪ 自身の健康の不安について	5
⑫ 仕事の不安について	4
⑬ 税金について	3
⑭ 学童保育について	3
⑮ 病気保育について	1
⑯ 転職について	1
⑰ 子供の健康の不安について	1
⑱ 公共の児童相談機関について	1
⑲ その他	5
⑳ 特になし・分からない	3
合計	156

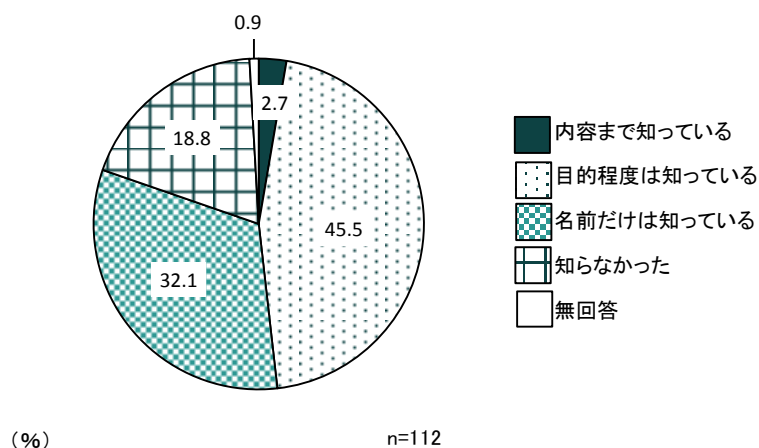
Ⅲ 子どもの貧困対策に関する支援者アンケート調査結果

1 子どもの貧困に関する法律や大綱の認知度と支援の内容について

(1) 子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るとともに、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指すことを目的・理念として、平成 26 年 1 月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、平成 26 年 8 月には「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定されました。この法律や大綱についてどの程度知っていますか。近いもの 1 つに○をつけてください。

子どもの貧困対策に関する法律や大綱の認知度について、「目的程度は知っている」が 45.5%と最も高くなっています。ついで、「名前だけは知っている」が 32.1%、「知らなかった」が 18.8%となっています。

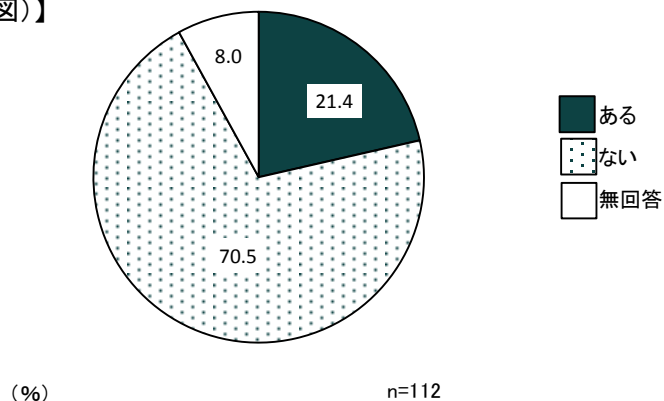
【全体（図）】



(2) 貴機関（団体）では、貧困の状態にある子どもの支援に携わったことがありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

貧困状態にある子どもの支援に携わったことがあるかについて、「ある」が 21.4%、「ない」が 70.5%となっています。

【全体（図）】



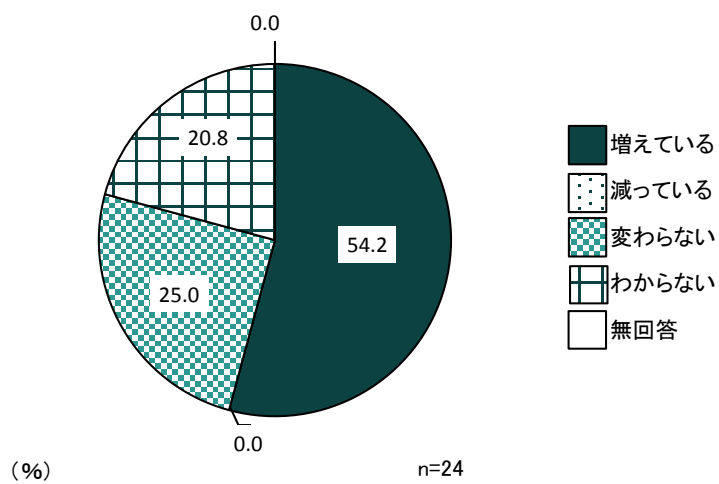
以下、(3)からは、(2)「1 ある」とお答えの方のみ
「2 ない」とお答えの方は、(6)から。

2 貧困状態にある子どもの現状について

(3) これまでの経験から見て、貧困の状態に置かれた子どもの数は増えていると感じますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

貧困状態に置かれている子どもの増減について、「増えている」が54.2%と最も高くなっています。ついで、「変わらない」が25.0%、「わからない」が20.8%となっています。

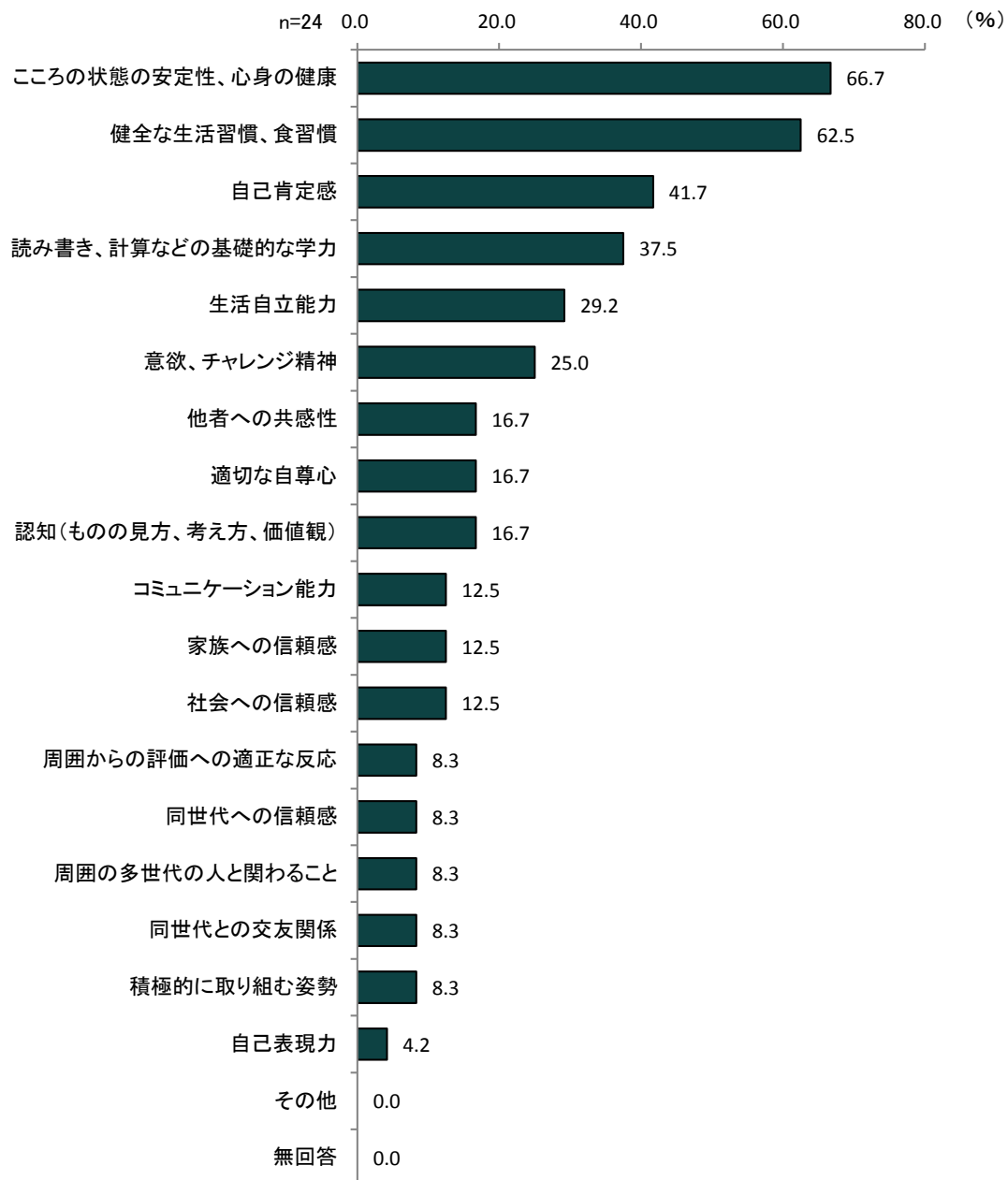
【全体 (図)】



(4) これまでの経験から見て、貧困の状態に置かれた子どもは、どのような面で困難を抱えていることが多い（または困難を抱える可能性がある）と思いますか。主なものに3つまで○をつけてください。

貧困状態に置かれている子どもが抱えている貧困状況について、「こころの状態の安定性、心身の健康」が66.7%と最も高くなっています。ついで、「健全な生活習慣、食習慣」が62.5%、「自己肯定感」が41.7%となっています。

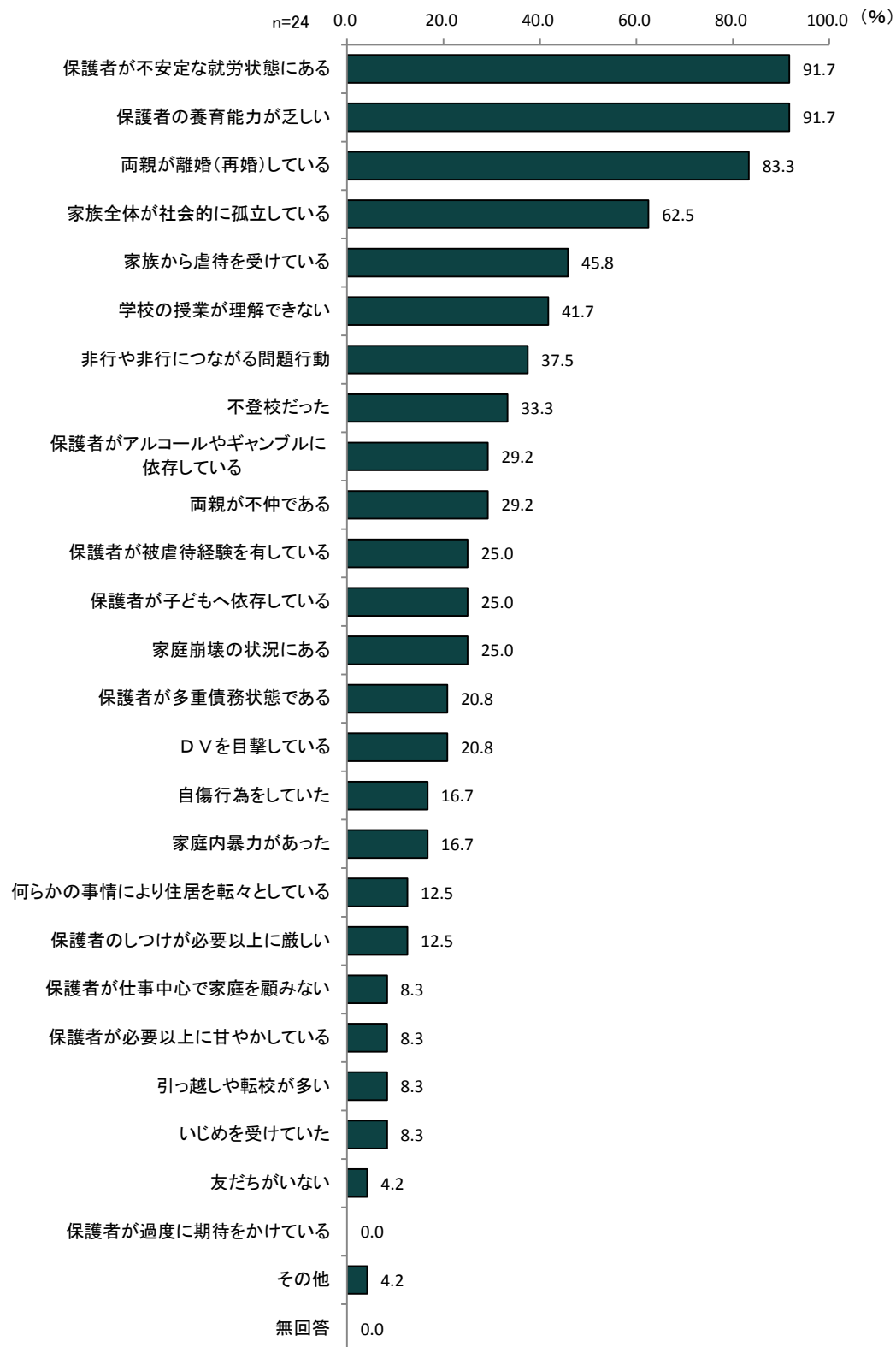
【全体（図）】



(5) これまでの経験から見て、支援している子どもは、成育上どのような経験をしていることが多いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

貧困状態に置かれている子どもが経験していることについて、「保護者が不安定な就労状態にある」と「保護者の養育能力が乏しい」がともに91.7%と高くなっています。ついで、「両親が離婚（再婚）している」が83.3%、「家族全体が社会的に孤立している」が62.5%となっています。

【全体（図）】

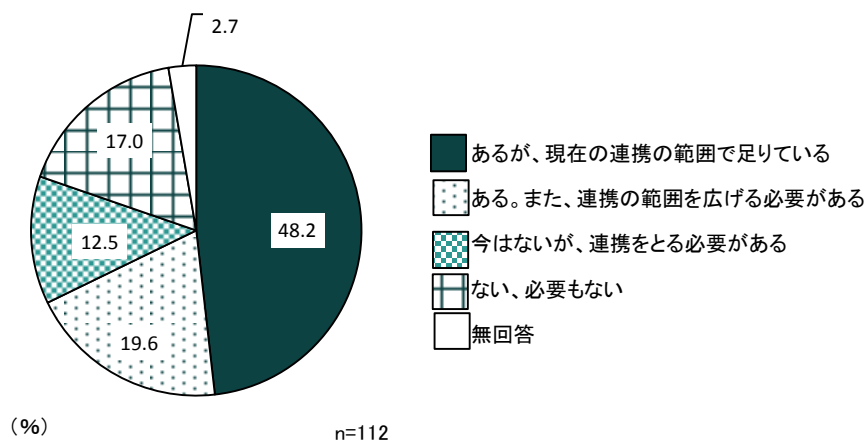


3 他団体との連携について

(6) 貴機関（団体）では支援を行う上で他の機関との連携はありますか。またその連携の範囲について、今後どのような必要がありますか。あてはまるものに○をつけてください。

他機関との連携の有無やその範囲について、「あるが、現在の連携の範囲で足りている」が48.2%と最も高くなっています。ついで、「ある。また、連携の範囲を広げる必要がある」が19.6%、「今はないが、連携をとる必要がある」が12.5%、「ない、必要もない」が17.0%となっています。

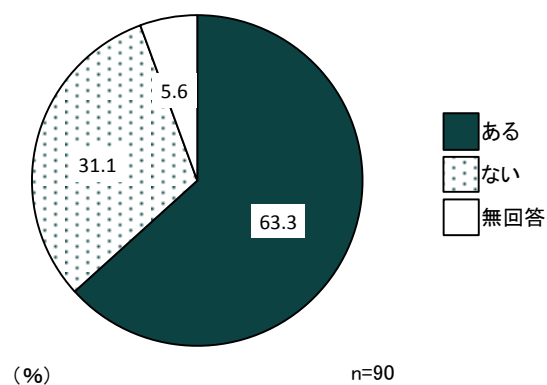
【全体（図）】



(7) 貴機関（団体）が支援を行う上で、市に求めるもの（施策や役割など）はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

支援を行う上で、市に求めるものがあるかについて、「ある」が63.3%、「ない」が31.1%となっています。

【全体（図）】



(7)で「1 ある」と答えた方のみ。

(8) 市に求めるものはどのような内容ですか、記入してください。

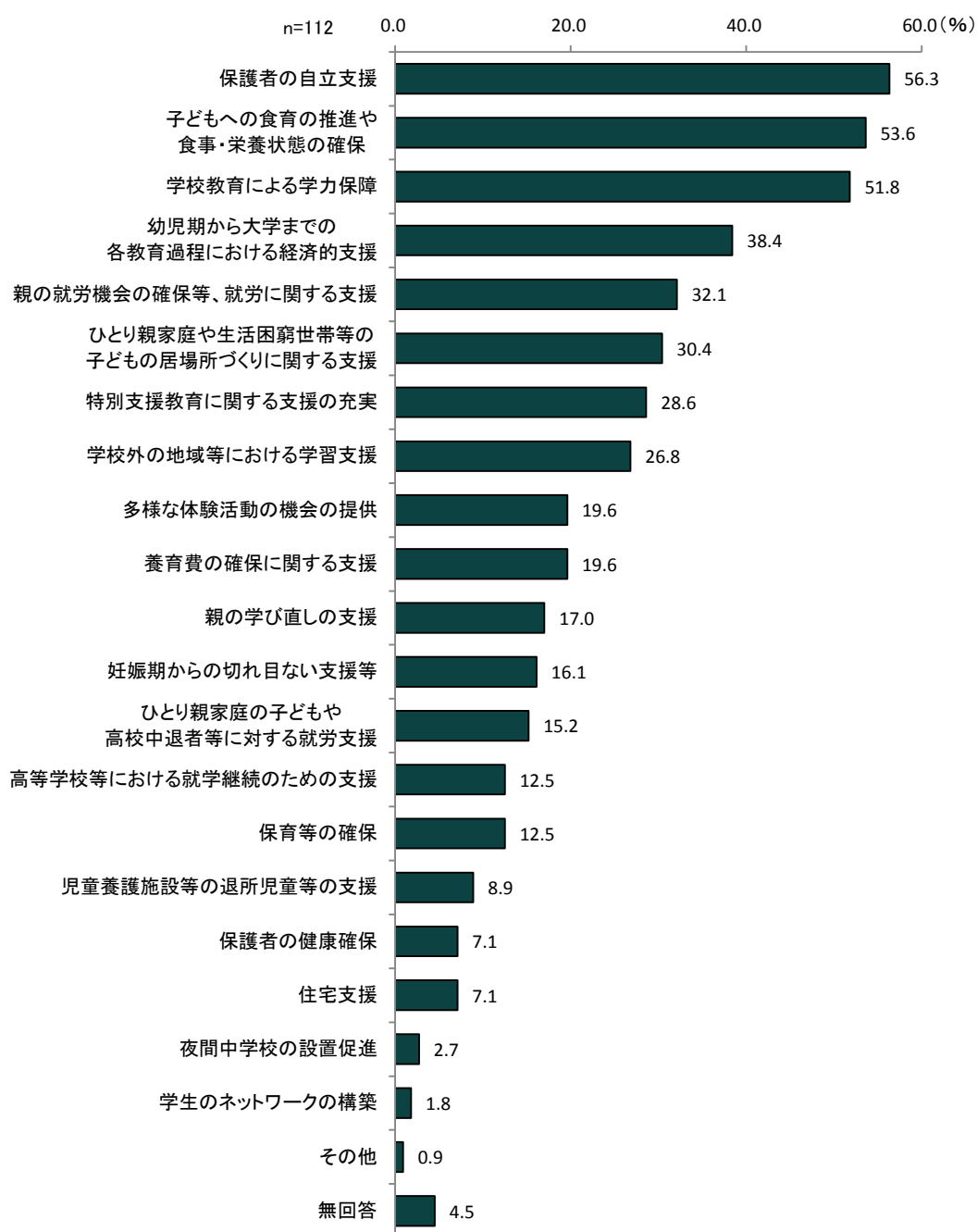
自由記述について、「①専門機関等との連携・情報提供等について」に分類されるものが17件と最も高くなっています。ついで、「②市（行政）の支援について」が12件、「③施設・機関について」が、8件となっています。

分類	件数
①専門機関等との連携・情報提供等について	17
②市（行政）の支援について	12
③施設・機関について	8
④施策や支援の情報について	4
⑤子どもの貧困状況について	4
⑥保護者のサポートについて	3
⑦学習支援について	3
⑧就労に対する支援について	3
⑨その他	3
合計	57

(9) 貴機関（団体）で実際に取り組まれている支援内容いかに関わらず、貧困の状態に置かれた子どもやその家族への支援にあたっては、どのような支援が必要だと思いますか。主なものに5つまで○をつけてください。

貧困状態に置かれている子どもやその家族への必要な支援について、「保護者の自立支援」が56.3%と最も高くなっています。ついで、「子どもへの食育の推進や食事・栄養状態の確保」が53.6%、「学校教育による学力保障」が51.8%となっています。

【全体（図）】



(10) 子どもの貧困やその対策に対する、貴機関（団体）のご意見等をご自由にお聞かせください。

自由記述について、「①支援方法の要望・検討について」に分類されるものが18件と最も高くなっています。ついで、「②保護者・家庭への支援・指導について」が12件、「③子どもの貧困状況について」が10件となっています。

分類	件数
①支援方法の要望・検討について	18
②保護者・家庭への支援・指導について	12
③子どもの貧困状況について	10
④情報共有について	5
⑤団体における現状・今後の方向性について	5
⑥関連機関の連携について	5
⑦その他・特になし	3
合計	58